

**荒川区 指定管理者
平成29年度分 実績評価結果**

平成30年9月

目 次

<p>実績評価の目的及び評価方法について ... 3</p> <p>ふれあい館</p> <p>石浜ふれあい館 ... 5</p> <p>南千住ふれあい館 ... 8</p> <p>南千住駅前ふれあい館 ... 11</p> <p>汐入ふれあい館 ... 14</p> <p>峡田ふれあい館 ... 17</p> <p>荒川山吹ふれあい館 ... 20</p> <p>町屋ふれあい館 ... 23</p> <p>荒木田ふれあい館 ... 26</p> <p>尾久ふれあい館 ... 29</p> <p>西尾久ふれあい館 ... 32</p> <p>東日暮里ふれあい館 ... 35</p> <p>夕やけこやけふれあい館 ... 38</p> <p>西日暮里ふれあい館 ... 41</p> <p>文化施設</p> <p>荒川区民会館（サンパール荒川） ... 44</p> <p>日暮里サニーホール ... 47</p> <p>ムーブ町屋 ... 50</p> <p>生涯学習施設</p> <p>町屋文化センター ... 53</p> <p>生涯学習センター ... 56</p> <p>清里高原ロッジ／清里高原少年自然の家 ... 59</p> <p>スポーツ施設</p> <p>荒川総合スポーツセンター ... 62</p> <p>高齢者福祉施設</p> <p>特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 ... 66</p> <p>特別養護老人ホームサンハイム荒川 ... 70</p> <p>特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 ... 74</p> <p>グリーンハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 78</p> <p>サンハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 82</p> <p>花の木ハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 86</p> <p>西日暮里在宅高齢者通所 S C ... 90</p> <p>町屋在宅高齢者通所 S C ... 94</p>	<p>南千住中部在宅高齢者通所 S C ... 98</p> <p>東日暮里在宅高齢者通所 S C ... 102</p> <p>荒川東部在宅高齢者通所 S C ... 106</p> <p>西尾久西部在宅高齢者通所 S C ... 110</p> <p>荒川老人福祉センター ... 114</p> <p>荒川授産場 ... 118</p> <p>障がい者福祉施設</p> <p>荒川福祉作業所 ... 122</p> <p>荒川生活実習所 ... 125</p> <p>尾久生活実習所本所／分場 ... 128</p> <p>障害者福祉会館 ... 131</p> <p>精神障害者地域生活支援センター ... 134</p> <p>保育施設</p> <p>小台橋保育園 ... 137</p> <p>上尾久保育園 ... 141</p> <p>南千住さくら保育園 ... 145</p> <p>汐入とちのき保育園 ... 149</p> <p>はなみずき保育園 ... 153</p> <p>南千住保育園 ... 157</p> <p>南千住七丁目保育園 ... 161</p> <p>夕やけこやけ保育園 ... 165</p> <p>住宅</p> <p>区営住宅（西尾久七丁目、西尾久三丁目、 南千住二丁目、町屋七丁目、町屋五丁目） ... 169</p> <p>区民住宅（町屋八丁目、町屋五丁目） ... 173</p> <p>従前居住者用住宅（町屋五丁目住宅） ... 173</p> <p>自転車等駐車場</p> <p>南千住駅東口自転車等駐車場 ... 177</p> <p>センターまちや自転車駐車場 ... 180</p> <p>日暮里駅前自転車駐車場 ... 183</p> <p>三河島駅前自転車駐車場 ... 186</p> <p>通所サービスセンターを「S C」と記載しています。</p>
---	--

実績評価の目的及び評価方法について

1 実績評価の目的

指定管理施設の管理運営の状況等について、実績の評価を行うことにより、継続的な改善を促し、サービス水準の一層の向上を図る。

2 評価方法

(1) 施設種別の設定

施設特性に応じた、より実効性のある、きめ細やかな評価を行うため、次の2種類の施設種別を設定する。

施設種別	施設特性	対象施設
A 施設	<ul style="list-style-type: none"> 法令等による施設運営基準の定めがある 人的サービスの比重が大きい 	高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、保育施設
B 施設	<ul style="list-style-type: none"> サービスや事業内容に関する指定管理者の創意工夫の余地が大きい 	文化施設、ふれあい館、生涯学習施設、スポーツ施設、自転車等駐車場、住宅

(2) A 施設のサービス面に関する評価項目と評点

- 「法令基準等への適合状況」と「加点点評価項目」の2面から評価する。
- 「法令基準等への適合状況」については、施設の設備、人員配置、運営等に関する法令基準を満たしているかを確認し、1項目でも満たしていなければ「不適合」と判断する。
- 施設特性に応じて「加点点評価項目」を設定し、「極めて良好である」「良好である」「取組が行われていない、または十分でない」の3段階で評価する。

(3) B 施設のサービス面に関する評価項目と評点

- 「基本評価項目」と「その他の評価項目」の2面から評価する。
- 「基本評価項目」については、「施設の維持管理」と「区民サービス」の2点について、施設特性に応じて評価の細目及び配点(100点満点)を設定し、5段階評価を行った上で得点を算出する。
- 「その他の評価項目」については、評価対象とする項目及び配点(10点以内)を施設特性に応じて設定し、5段階の評価を行った上で得点を算出する。
- 「基本評価項目(100点)」と「その他の評価項目(10点)」の総合得点(110点満点)を算出し、下表の基準によりS~Dの総合評価を行う。

評価		基準
S	特に優れている	総合得点が100点以上
A	優れている	総合得点が80点以上100点未満
B	適正である	総合得点が60点以上80点未満
C	努力が必要である	総合得点が40点以上60点未満
D	運営に大きな問題がある	総合得点が40点未満

(4) 財務・労務に関する評価項目と評点 (A 施設・ B 施設共通)

- ・ A 施設・ B 施設ともに、「会計 」、「会計 」、「労務」、「法人決算」の状況を確認し、次の基準により優良・良好・課題有の評価を行う。

< 会計 >

優良 : 会計手続及び予算管理が極めて適正である。

良好 : 会計手続及び予算管理が適正に行われていた。もしくは、会計手続及び予算管理が概ね適正に行われていた。一部に改善の必要があったが、改善された又は改善の計画がある。

課題有 : 会計手続及び予算管理に改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、会計手続及び予算管理に問題があり、改善の見込みがない。

< 会計 >

優良 : 施設の特性に応じ、極めて優れた経費の効果的活用が行われていた。

良好 : 施設の特性に応じ、経費の効果的活用が行われていた。

課題有 : 経費の効果的活用について、改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、経費の効果的活用について改善の見込みがない。

< 労務 >

優良 : 労働環境が適正である。

良好 : 労働環境は適正ではあるが、一部改善の必要が見受けられる。改善が必要な部分について、改善された又は改善の計画がある。

課題有 : 労働環境に改善すべき点が見られ、努力が必要である。もしくは、労働環境に問題があり、改善の見込みがない。

< 法人決算 >

優良 : 極めて良好な財務力を有している。

良好 : 安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。もしくは、安定的・継続的な運営に当たって一部改善の必要が見受けられるが、改善の見込みがある。

課題有 : 安定的・継続的な運営に当たって改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	石浜ふれあい館
	所在地	荒川区南千住三丁目28番2号
指定管理者	名称	株式会社日本デイクアセンター
	所在地	千代田区神田猿樂町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～平成31年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 48,087名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)6,199名 (乳幼児)7,093名 (小学生)18,577名 (中学生)1,641名 (高校生)466名 (成人)2,578名 (高齢者)5,252名 (合計)41,806名</p> <p>貸室利用者数 6,281名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	幼児教育への関心の高まりを受け、既存の事業のより一層の充実を図るとともに、新規事業として、幼児体操、英語教室、保護者向けのアロママッサージを実施する。	
【小学生】	多くの小学生が参加しやすいサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図る。	
【中学生】	中学生が利用しやすい環境を整備し、学校を卒業するまでの間、良い思い出を作れるよう接していく。	
【成人】	子育て世代の父親が息抜きできるような事業(木工教室等)を確立する。	
【高齢者】	既存の事業のより一層の充実を図るとともに、利用者の要望を踏まえ、新規事業として、体操、英語事業を実施する。	
【世代間交流】	小学生の親子が参加できる事業(ディアポロ体験等)を実施し、親子間の交流を促進する。	
【地域交流】	お祭りやハロウィンイベントの実施に向けて、地域と積極的に連携する。	
平成29年度の実績		
【乳幼児】	乳幼児向けの体操は大変好評で、定員超えによって参加できない方もいたため、実施方法を見直し、より多くの方が参加できるように工夫した。	
【小学生】	多目的室での活動が充実していたほか、新たに小学生を対象とした「軽音部」を立ち上げ、子ども同士や他世代との交流を促進した。	
【中学生】	中学生のみが多目的室を使用できる時間帯を設けるなど、中学生が利用しやすい環境を整備し、年間をとおして安定した利用があった。	
【成人】	親子で参加できる木工教室を実施したほか、子育て世代の母親向けのサークルを2件立ち上げた。	
【高齢者】	高齢者向けの体操は大変好評で、利用者の安全を第一に考えつつ、体操の内容や実施回数を充実させ、健康の増進に寄与した。	
【世代間交流】	小学生の親子で参加できる「ディアポロ体験」、「わいわいピンポン」、「ミニシアター」を実施し、親子間の交流を促進した。	
【地域交流】	地域との連携を密にし、お祭りやハロウィンイベント、クリスマス会など、地域と一体となってイベントを実施した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			76
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	4	80%	16
合 計 (A)	100			96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計 (B)	10			10
合計 (A+B)				106
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。特に、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。また、地域との取組では、地域行事に参加するだけでなく、事務局を務める等積極的に連携を図っており、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たしている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

利用者数の増加に向けて、なお一層地域住民のニーズの的確な把握に努め、事業に反映させるよう促していく。

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	45,024,179	45,578,098	45,584,179	45,583,768
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	148,800	43,650
	計	45,024,179	45,578,098	45,732,979	45,627,418
支出	運営費	3,023,595	2,448,966	3,023,595	1,945,771
	管理費	10,518,670	11,632,866	10,285,443	12,536,123
		本部経費	2,527,720	3,632,901	1,305,143
	人件費	29,438,207	28,125,460	27,932,314	28,849,045
	修繕費	272,484	285,930	292,011	291,600
	その他支出	0	0	0	0
	計	43,252,956	42,493,222	41,533,363	43,622,539
収支差額		1,771,223	3,084,876	4,199,616	2,004,879

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 3 平成 2 9 年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の 2 分の 1 を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診断を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	水道光熱費に経費縮減の努力が行われている一方、社会保険適用拡大による法定福利費が増加している。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、協定締結日漏れなどあるが、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住ふれあい館
	所在地	荒川区南千住六丁目36番13号
指定管理者	名称	テンプスタッフ・ウィッシュ株式会社
	所在地	渋谷区代々木二丁目1番1号 新宿マインズタワー
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】音楽室、屋上広場</p> <p>【総入館者数】 68,976名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)8,814名 (乳幼児)10,512名 (小学生)16,018名 (中学生)1,771名 (高校生)222名 (成人)736名 (高齢者)9,130名 (合計)47,203名</p> <p>貸室利用者数 21,773名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	利用者のニーズにあわせた季節行事や講座等を実施することで、親子同士の交流を促進し、乳幼児の健全な育成を支援するとともに、保護者の孤立を防止する。	
【小学生】	遊びや運動等を通じて、異なる年齢や学校の子どもとの仲間作りを推奨し、子ども同士の交流を促進する。	
【中高生】	中高生が気軽に集まり、友達同士で落ち着いて利用できる居場所を提供するとともに、中高生と信頼関係を構築し、非行や孤立を防止する。	
【成人】	スポーツや文化的講座、遠足等の事業を通じて、利用者同士の交流を図る。	
【高齢者】	高齢者が生きがいを持って自立した生活を営み、積極的に社会参加できるよう、文化・健康の増進に向けた各種事業を実施する。	
【世代間交流】	幅広い世代の方が参加できる大小様々な規模の事業を実施し、世代間での交流を促進する。	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児】	乳幼児タイムでは、参加者の安全を確保するため、定員を設けて実施したが、その結果、参加者数は減少したものの、参加者一人一人に寄り添い、質の高いクラス運営を行うことができた。	
【小学生】	日頃の遊びや創作活動のほか、「おばけやしき」や「デイキャンプ」などの大規模イベントを定期的を実施し、子ども同士の交流を図るとともに、各種事業を通じて、挨拶やルールを守ることの重要性を伝え、子どもたちの健全な成長を支援した。	
【中高生】	中高生向けに多目的室を解放する「ティーンズタイム」を設け、中高生の居場所を整えるとともに、積極的にコミュニケーションを図り、良好な関係を構築した。	
【成人】	「はじめてのヨガ」などのスポーツ事業や、各種講座等を実施し、利用者の余暇の充実と交流の促進に寄与した。	
【高齢者】	スポーツや手芸、演芸会、カラオケ大会、遠足など、高齢者向けの事業を幅広く実施し、利用者の文化と健康の増進に寄与した。	
【世代間交流】	大規模イベントの「わくわくまつり」では、実行委員の小学生と高齢者とがペアを組んで模擬店を運営するなど、各種事業を通じて、世代間での交流を促進した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			18
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			67
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	4	80%	16
合計(A)	100			85

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
安全に対する積極的な取組を行っている	4	3	60%	2.4
合計(B)	10			7.6
合計(A+B)				92.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、幅広い世代を対象に積極的に事業を実施しているほか、ポスターや館だよりを有効に活用した広報を行い、適切に事業を周知できている。また、地域のお祭り等の行事に積極的に参加・協力したほか、近隣の高齢者施設との交流事業を実施するなど、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

上級救命講習の受講率の向上や、二次避難所開設訓練の実施など、安全に対する取組についてより一層の努力を求めていく。

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	46,774,884	47,171,027	47,749,369	47,099,779
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	85,650	91,230	208,000	208,000
	計	46,860,534	47,262,257	47,957,369	47,307,779
支出	運営費	1,471,928	1,638,300	1,835,800	1,485,627
	管理費	9,923,133	10,692,971	9,184,000	8,450,050
		本部経費	3,327,778	3,944,194	0
	人件費	35,152,856	35,001,858	33,010,000	33,515,806
	修繕費	312,617	299,160	877,569	770,040
	その他支出	0	0	0	0
	計	46,860,534	47,632,289	44,907,369	44,221,523
収支差額		0	-370,032	3,050,000	3,086,256

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 3 平成 2 9 年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の 2 分の 1 を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診断を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	水道光熱費に経費縮減の努力が行われている。支出としての消耗品費が増加しているが、その分を運営費で削減している。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法定を下回っているが、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、収益性、安定性が特に優れており、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住駅前ふれあい館
	所在地	荒川区南千住七丁目1番1号 アクレスティ南千住2階
指定管理者	名称	株式会社日本デイクアセンター
	所在地	千代田区神田猿樂町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成22年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成22年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～平成33年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【総入館者数】 98,958名 (内訳) 世代別事業参加者数 (保護者)9,752名 (乳幼児)10,993名 (小学生)15,345名 (中学生)745名 (高校生)73名 (成人)7,848名 (高齢者)8,626名 (合計)53,382名 貸室利用者数 45,576名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	家族間のふれあいを大切にする事業を実施し、乳幼児の健全な成長と家族間の交流を促進するとともに、子育て世代の母親がリフレッシュできる事業を実施する。	
【小学生】	遊びや運動等を通じて、異なる年齢や学校の子どもの仲間作りを推奨し、子ども同士の交流を促進する。	
【中高生】	中高生が気軽に集まり、友達同士で落ち着いて利用できる居場所を提供するとともに、中高生と信頼関係を構築し、非行や孤立を防止する。	
【成人】	スポーツや文化的講座、遠足等の事業を通じて、利用者同士の交流を図る。	
【高齢者】	高齢者が生きがいを持って自立した生活を営み、積極的に社会参加できるよう、文化・健康の増進に向けた各種事業を実施する。	
【世代間交流】	幅広い世代の方が参加できる大小様々な規模の事業を実施し、世代間での交流を促進する。	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児】	託児付きの「mama工房」や親子でのバス遠足など、保護者がリフレッシュできる事業を積極的に実施し、子育て世代の育児を支援した。	
【小学生】	ダンスやスポーツのサークル活動を充実させたほか、巨大迷路やクリスマス等の大型イベントでは、小学生による実行委員会方式で運営し、子どもたちの健やかな成長を支援した。	
【中高生】	中高生のみが多目的室を使用できる時間帯を設けるなど、中高生が利用しやすい環境を整備した結果、中高生の来館者数が増加した。	
【成人】	フラダンスや芸術講座、囲碁講座、コーラス等の幅広い事業を積極的に実施した結果、来館者数が大幅に増加した。	
【高齢者】	定例的な各種ダンスや合唱、カラオケ等の事業を積極的に実施するとともに、一部の貸室を高齢者向けに解放した結果、高齢者の来館者数が増加した。	
【世代間交流】	乳幼児と祖父母を対象とした事業「じいじ、ばあばと遊ぼう」を実施するなど、幅広い世代の方が参加できる事業を積極的に実施し、世代間の交流を促進した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			78
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合計(A)	100			98

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	4	80%	3.2
合計(B)	10			8.4
合計(A+B)				106.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。特に、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。また、これらの取組が評価され、利用者数も前年度から大きく増加している。事業では、ビルの屋上スペースを活用したラディッシュ栽培を地域と連携して行い、この取組が「あらかわ緑・花大賞」で奨励賞を受賞するなど、地域との連携も充実している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

職員の配置に当たっては、より積極的な区民雇用の促進を求めていく。

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	41,575,562	41,643,849	45,170,729	45,121,655
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	225,500	303,760
	計	41,575,562	41,643,849	45,396,229	45,425,415
支出	運営費	2,665,799	2,825,414	3,000,000	1,738,416
	管理費	4,028,588	5,338,168	9,025,655	12,172,850
		本部経費	1,045,944	2,064,278	1,305,143
	人件費	33,373,335	33,075,523	28,351,179	30,330,811
	修繕費	635,174	211,841	654,630	605,556
	その他支出	0	0	0	0
	計	40,702,896	41,450,946	41,031,464	44,847,633
収支差額		872,666	192,903	4,364,765	577,782

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 3 平成 2 9 年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の 2 分の 1 を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診断を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	役員費に経費縮減の努力が行われている一方貸室稼働率上昇により水道光熱費が増加している。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、協定締結日漏れなどあるが、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	汐入ふれあい館
	所在地	荒川区南千住八丁目2番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日
業務内容		<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、だれでもトイレ（学童クラブ併設）</p> <p>【特徴ある施設】 図書室</p> <p>【総入館者数】 67,582名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)10,658名 (乳幼児)11,462名 (小学生)28,343名 (中学生)1,031名 (高校生)186名 (成人)915名 (高齢者)3,114名 (合計)55,709名</p> <p>貸室利用者数 11,873名</p>
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	<p>保育園、幼稚園の待機児対策の一助として、要望の多い乳幼児年齢別の活動を、可能な限り定員を設けずに実施する。また、新生児の対応もできるよう、クラス編成等も考え、参加人数が増加した場合には、クラスを増やして対応する。</p>	
【小学生】	<p>ハイキング登山やキャンプ等の「自然体験を中心とする野外活動」を通して、自立性、協調性等を養う。また、日頃は接することの少ない自然とのふれあい、野外体験の楽しさ・素晴らしさを知ってもらうきっかけとなることを目指す。</p>	
【成人・高齢者】	<p>歩いて行ける「近隣へのお出かけ」などを企画実施し、成人・高齢者の健康増進を図る。行先を利用者の希望や意見をもとに決定することで、主体的に活動に参加していただくことを目指す。</p>	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児】	<p>乳幼児を子育て中の母親は、長時間外出や遠方への外出が難しいことから、子育て支援の一環として母親にリフレッシュの場を提供する「ママ'sデイ」を企画実施した。参加者からの要望に応えた内容（ネイル体験、似顔絵制作、ハンドマッサージ等）で実施し、好評であった。</p>	
【小学生】	<p>野外体験活動として低学年キャンプを実施し、集団生活を通して自主性や協調性などを身に付ける場を提供した。</p> <p>また、小学生の手話ソングクラブを継続的に活動した。館行事のクリスマス会(12月)や交流フェスタ(3月)などで成果発表をすることが出来たことは、参加した児童にとって、仲間とやり遂げた達成感を得ることができ、自信につながる経験となった。</p>	
【成人・高齢者】	<p>区のこぼん体操事業への協力のほか、健康体操、卓球タイム、大人のスポーツタイム、書道タイム、絵手紙タイム、カラオケ(一般来館者対象)などを継続して実施し、成人・高齢者の健康増進や文化活動の推進を図った。</p>	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			17
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			63
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	3	60%	12
合 計 (A)	100			80

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
安全に対する積極的な取組を行っている	4	4	80%	3.2
合 計 (B)	10			8
合 計 (A+B)				88
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、危機管理等を徹底し、適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、幅広い世代を対象に積極的に事業を実施しているほか、ポスターや館だよりを有効に活用した広報を行い、適切に事業を周知できている。事業では、運動会やお祭りを実施したほか、地域の各種行事にも積極的に参加しており、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者数の増加に向けて、今後、より一層地域住民のニーズの的確な把握に努め、快適な施設管理や利用者の増加を図るよう促していく。
- ・職員の配置に当たっては、より積極的な区民雇用の促進を求めていく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	41,957,610	42,884,859	47,570,234	46,478,232
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	527,000	108,385
	計	41,957,610	42,884,859	48,097,234	46,586,617
支出	運営費	1,607,991	2,233,416	2,677,323	2,617,401
	管理費	7,009,550	6,505,253	11,644,507	10,371,882
		本部経費	1,740,186	1,750,396	1,225,000
	人件費	30,656,567	34,284,151	32,200,000	33,758,349
	修繕費	575,554	988,956	1,190,404	555,368
	その他支出	0	0	0	0
	計	39,849,662	44,011,776	47,712,234	47,303,000
収支差額		2,107,948	-1,126,917	385,000	-716,383

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 3 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診断を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	既存ストックの利用などにより消耗品費に大幅な経費縮減の努力が行われている一方、退職給付充実のため法定福利費が増加している。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法令を下回っているが、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	峡田ふれあい館
	所在地	荒川区荒川三丁目3番10号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号 池袋ISPタマビル
施設開設年月日		平成23年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、創作室、だれでもトイレ（学童クラブ併設）</p> <p>【特徴ある施設】 備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 87,234名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)4,943名 (乳幼児)5,154名 (小学生)10,982名 (中学生)1,232名 (高校生)805名 (成人)722名 (高齢者)18,350名 (合計)42,188名</p> <p>貸室利用者数 45,046名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	異年齢の交流事業を実施することで、保護者同士の交流の機会を設け、身心のリフレッシュを図る。	
【小学生】	創作活動を通じて子どもたちの生きる力と創造力を育み、成長を支援する。	
【中学生】	学びと遊びの機会を提供し、中高生にとって居心地の良い環境を整備する。	
【成人】	キンボールやビーチボールバレー等の体を動かす事業を実施するとともに、フラダンス等の発表の機会を積極的に設け、子育て世代の利用を促進する。	
【高齢者】	介護予防事業を中心に実施し、健康の増進と利用者同士の交流を図る。	
【世代間交流】	小学生と中高生、中高生と成人など、様々な世代の利用者が交流を深められるよう、多様な事業を実施する。	
【地域交流】	地域の方が児童事業に携われる機会を設けるとともに、近隣のエコセンターとの取組を通じて、各世代の環境への興味・関心を引出し、環境事業の推進を支援する。	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児】	月齢の異なる乳幼児クラスが合同で「縁日遊び」を実施し、保護者同士の交流の機会を促進した。	
【小学生】	定期的に「科学工作」や「リサイクル工作」等の充実した創作活動を実施し、子どもたちの創造力を育むとともに、小学校の長期休業期間中には、子どもたちの宿題を支援し、充実した学習環境を提供した。	
【中学生】	中高生の学習スペースを整備し、日常的に中高生が来館するようになった。	
【成人】	キンボール事業に積極的に取組、区民大会では優勝するなど、スポーツ文化の向上に寄与した。	
【高齢者】	利用者の事業数を増加してほしいとの要望に対し、ボランティアの活用を図るなどして要望に応え、高齢者向けの事業を充実させた。	
【世代間交流】	小学生と高齢者による将棋大会の実施、中高生と成人の混合チームでキンボール大会に出場するなど、世代間の交流を促進した。	
【地域交流】	地域のイベントに対し、ふれあい館としてブースを出展するだけでなく、利用者にも参加を促し、主体的な地域コミュニティの形成に寄与した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			18
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			54
利用者の事業に対する満足度が高い	20	3	60%	12
職員の接遇がきちんとなされている	25	3	60%	15
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	3	60%	3
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	4	80%	16
合 計 (A)	100			72

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計 (B)	10			9.2
合計 (A+B)				81.2
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、積極的に事業を実施しており、利用者数も安定している。事業では、地域のボランティアを積極的に活用しており、地域の活動拠点として適切に運営されている。また、全常勤職員が上級救命講習を受講しているほか、優良防火施設認定の取得や二次避難所開設訓練を実施するなど、安全に対して積極的な取組を行っている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者の事業に対する満足度の向上を目指し、利用者ニーズのより一層の的確な把握に努め、事業に反映させるよう促していく。
- ・職員の接遇の更なる改善に向け、なお一層職員研修を積極的に実施するとともに、計画的に職員を配置・育成するよう促していく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	49,157,103	50,176,903	50,200,459	47,149,263
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	200,000	65,820
	計	49,157,103	50,176,903	50,400,459	47,215,083
支出	運営費	2,710,401	3,868,647	1,990,000	2,423,596
	管理費	16,242,764	15,572,842	13,084,982	12,795,504
		本部経費	5,000,000	5,381,594	1,870,000
	人件費	28,630,159	27,691,818	30,079,933	27,193,730
	修繕費	471,689	1,091,988	1,115,544	950,551
	その他支出	0	0	0	0
	計	48,055,013	48,225,295	46,270,459	43,363,381
収支差額	1,102,090	1,951,608	4,130,000	3,851,702	

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、総勘定元帳、各証憑書類等を確認した結果、一部決算書に関する指摘事項について速やかに改善され、また、追加の資料が提出された。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	消耗品費、健康管理費、運営費が増加しているが、役務費、本部経費について経費削減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、一部就業規則に関する指摘事項について速やかに改善され、また、追加の資料が提出された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川山吹ふれあい館
	所在地	荒川区荒川七丁目6番8号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人荒川区高年者クラブ連合会
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
施設開設年月日		平成18年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年2月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】茶室、調理・会議室、屋上庭園</p> <p>【総入館者数】 71,458名 (内訳) 世代別事業参加者数 (保護者)5,065名 (乳幼児)6,132名 (小学生)6,888名 (中学生)1,226名 (高校生)118名 (成人)2,473名 (高齢者)11,529名 (合計)33,431名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	新規事業として、子育て中の母親を対象に手芸や編み物などの制作活動をする「ママのほっとタイム」を実施し、母親が育児から離れリフレッシュできる時間を提供する。	
【小学生】	子どもたちが主体となって運営する子ども会議の充実を図り、子ども自身が行事や遊びを実施することにより、自主性や主体性を育む。	
【中高生】	ボランティア活動への参加を推進したり、多目的室を解放するなどして、中高生に居場所を提供する。	
【成人】	利用しやすい日時や参加しやすい事業を検討するとともに、周知方法を工夫して利用拡大を図る。	
【高齢者】	利用者に好評の「やまぶき俳句会」を今年度も実施すると同時に、新たに「スポーツ吹矢」を実施し、高齢者の一層の文化活動の推進、健康増進を図る。	
【世代間交流】	幼児親子と高齢者で「街なか花壇」事業を実施し、世代を超えた交流を図る。	
【地域交流】	法人や地域と連携して「わが街の名人」を探し、「やまぶき文化祭」を実施する。	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児】	「ママのほっとたいむ」や身体測定を実施する「ぺったんこひろば」等の事業を通して、0歳児親子の来館を促進し、子育て中の保護者の不安感や孤立感の軽減に貢献した。	
【小学生】	チアダンスやフラダンス、一輪車サークル等活動で、「クリスマスフェスタ」や「交流フェスタ」へ出演したことは、達成感や充実感を得ることができ、子どもたちの自信につながった。	
【成人・高齢者】	新規に実施した「スポーツ吹矢」は、毎回18～20人の参加があり、利用者から好評であった。さらなる健康増進のため、30年度は、輪投げ事業を実施予定である。	
【世代間交流】	幼児タイムの親子15組が法人本部主催の運動会に参加し、高齢者とふれあうなど、世代を超えた交流の場を提供した。	
【地域交流】	地域交流の一環として、障害者通所施設のダンス活動の練習場所として施設を提供した。今後も近隣の施設や団体と協力しあい、地域との連携を強化していく。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			64
利用者の事業に対する満足度が高い	20	3	60%	12
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合 計 (A)	100			80

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計 (B)	10			9.2
合計 (A+B)				89.2
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、危機管理等を徹底し、適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、幅広い世代を対象に積極的に事業を実施しており、利用者数も安定している。また、職員の区民雇用を積極的に行っているほか、全常勤職員の上級救命講習の受講、優良防火施設認定の取得、二次避難所開設訓練の実施など、安全に対して積極的な取組を行っている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・施設をより快適に利用していただけるよう、館内の整理整頓や清掃の更なる充実を求めている。
- ・利用者の事業に対する満足度の向上を目指し、利用者ニーズのより一層の的確な把握に努め、事業に反映させるよう促していく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	46,607,643	47,092,106	47,102,613	45,009,881
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	336,158	6,466	218,200	71,056
	計	46,943,801	47,098,572	47,320,813	45,080,937
支出	運営費	3,068,903	3,166,297	8,085,940	10,566,920
	管理費	9,529,534	9,879,969	4,946,210	4,385,085
		本部経費	2,744,942	2,827,945	792,000
	人件費	26,412,030	29,584,455	28,378,011	26,286,775
	修繕費	966,816	1,130,274	1,145,372	1,143,876
	その他支出	0	0	0	0
	計	39,977,283	43,760,995	42,555,533	42,382,656
収支差額		6,966,518	3,337,577	4,765,280	2,698,281

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診断を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	物品修繕費に経費縮減の努力が行われている一方、運営費として臨時職員を採用したため増加している。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、協定の提出日遅れがあるが、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性は鈍化しているが、その他収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	町屋ふれあい館
	所在地	荒川区町屋一丁目35番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】音楽室、窯室</p> <p>【総入館者数】90,491名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)11,950名 (乳幼児)13,267名 (小学生)17,338名 (中学生)2,754名 (高校生)634名 (成人)4,579名 (高齢者)8,322名 (合計)58,844名</p> <p>貸室利用者数 31,647名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	父親参加型の事業「パパと遊ぼう」を年数回実施し、地域の父親同士が交流できる場を提供する。	
【小学生】	各学年の組織活動「まちふれんず」を通して、学校を超えて交流し、様々なことに一緒に取り組むことで、仲間意識や相手への思いやりの心を育む。	
【中学生】	中学生のニーズに応じたイベントの実施を検討する。また、日頃から職員が生徒に声をかけることで、相談しやすい雰囲気を作る。	
【成人】	小学生の母親を中心に、リラクゼーションと母親同士のコミュニケーションの場を提供する。	
【高齢者】	高齢者の自主的な組織活動を支援すると同時に、地域の方々との交流の場を提供する。	
【世代間交流】	町屋の森発表会では、全世代のサークルが発表をするだけでなく、自分たちのイベントとして主体的に参加できるよう支援する。	
【地域交流】	地域行事である町会の行事、町屋こどもまつり、その他発表会等に積極的に参加し、地域の方々との交流を深めるとともに、連携を強化する。	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児】	「パパと遊ぼう」を年1回から3回に増やしたことは、父親同士の交流の広がりや父親の地域参加へのきっかけを与えることができた。	
【小学生】	高学年の組織活動では館の行事の手伝いをしたり、障害者施設と交流を図った。子どもたちの自主性や相手への思いやりの心を育むなど、心身の成長を支援した。	
【中学生】	職員と良好な関係が築かれており、継続的に来館する生徒が増えている。	
【成人】	事業だけでなく、サロンを誰でも居心地の良い明るい雰囲気にする一方で、小学生の保護者等が情報交換、交流する場となっている。	
【高齢者】	「町屋倶楽部」では、高齢者に館の行事の手伝いなど活躍の場を提供することで、やりがいや生きがいを感じていただく支援をした。	
【世代間交流】	乳幼児から高齢者までと一緒に食事を楽しむ「みんなでお食事会」を実施し、幅広い世代での交流の場を提供した。	
【地域交流】	町会の「夕涼み会」や防災訓練、町屋こどもまつり、その他発表会等に積極的に参加し、地域の方々との交流を深めるとともに、連携を強化した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			74
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合 計 (A)	100			94

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合 計 (B)	10			10
合 計 (A+B)				104
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。また、ポスターや館だよりを使って効果的な広報を実施しており、来館者数も安定している。地域との連携では、「町屋の森発表会」をはじめ、地域との連携事業を積極的に実施している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

利用者の事業に対する満足度の向上を目指し、利用者ニーズのより一層の的確な把握に努め、事業に反映させるよう促していく。

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,999,738	48,095,290	52,128,115	51,024,118
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	536,000	436,248
	計	47,999,738	48,095,290	52,664,115	51,460,366
支出	運営費	2,850,520	3,753,859	3,594,380	3,573,442
	管理費	10,946,913	10,812,678	12,378,567	12,405,043
		本部経費	1,740,186	1,750,396	1,735,000
	人件費	32,759,849	30,218,446	35,527,211	34,439,583
	修繕費	335,035	390,744	923,569	907,200
	その他支出	0	0	0	0
	計	46,892,317	45,175,727	52,423,727	51,325,268
収支差額		1,107,421	2,919,563	240,388	135,098

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、返還後の金額を記載している。
- 2 平成 2 9 年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の 2 分の 1 を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診断を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	水道光熱費に経費縮減の努力が行われている一方、職員研修を多く実施したことでその他費用が増加している。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法令を下回っているが、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面は優良、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒木田ふれあい館
	所在地	荒川区町屋六丁目 1 3 番 2 号
指定管理者	名称	株式会社大起エンゼルヘルプ
	所在地	荒川区東尾久一丁目 1 番 4 号 5 階
施設開設年月日		平成 16 年 10 月 26 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 16 年 10 月 26 日
指定期間		平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】音楽室、調理・会議室</p> <p>【総入館者数】 79,819名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)5,329名 (乳幼児)7,647名 (小学生)15,005名 (中学生)3,887名 (高校生)237名 (成人)9,311名 (高齢者)5,702名 (合計)47,118名</p> <p>貸室利用者数 32,701名</p>	
平成 29 年度の事業計画		
【乳幼児】	年齢や発育状況に合わせたプログラムを実施し、子どもの健やかな成長を見守ると同時に、保護者の育児の悩みや不安を解消するため、いつでも気軽にふれあい交流ができる場を提供する。	
【小学生】	子ども達の自主的な運動活動と創作活動の支援を通じて、個性や可能性・能力を伸ばし、健康な心と体を持ってたくましく生きる力を育む。	
【中高生】	中高生限定の時間を日々設け、職員も一緒に身体を動かし、時には相談相手となり、中高生との信頼関係を構築することで、気軽に立ち寄れる環境を作っていく。	
【成人】	利用者の自主的かつ主体的な活動に繋がるよう支援する。年間 20 件以上の教室を提供する。	
【高齢者】	健康増進事業、教養・趣味活動支援事業を提供し、高齢者が元気に暮らせるように支援する。	
【世代間交流】	あらゆる世代の区民が相互に交流できる事業を企画・実施する。	
【地域交流】	町屋こどもまつり、明生苑（介護施設）、一輪車大会、児童館交換フェア等での地域交流を図る。	
平成 29 年度の事業実績		
【乳幼児】	0 歳児から未就学児までの継続的な子育て支援事業を実施した。保護者からは、上のクラスにそのまま上がりたいとの要望が多く寄せられたため、来年度はクラスを増やして対応する予定である。	
【小学生】	小学生ボランティアを募り、「運動会」や「荒木田ふれあい祭り」などの行事において、司会やゲームコーナー等を任せるなど、子どもたちの主体的・協同的な活動を支援した。また、「ダンスクラブ」や「一輪車教室」に参加している児童は、地域のお祭りや「交流フェスタ」等の大きな舞台で発表したことで達成感や充実感を得ることができ、子どもたちの大きな自信になった。	
【中学生】	新規事業として「中学生クッキング」を開催し、普段はサロンや多目的室で遊んでいる生徒たちの新たな得意分野を発見することができ、また新しい仲間作りの場を提供することができた。	
【成人・高齢者事業・世代間交流事業】	「レクダンス教室」と「カラオケ教室」の参加者が増加し、活気ある教室になっている。様々なイベントを実施したが、特に「荒木田トレインフェスティバル」は、708 名の方が来館され、大盛況であった。成人・高齢者の文化活動の推進や健康増進に寄与した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			14
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	3	60%	6
区民サービス	80			65
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	3	60%	3
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	4	80%	16
合計(A)	100			79

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
安全に対する積極的な取組を行っている	4	3	60%	2.4
合計(B)	10			7.6
合計(A+B)				86.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が快適に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、幅広い世代を対象に積極的に事業を実施しており、利用者の事業に対する満足度も高い。また、職員の接遇に対する利用者の評価も高く、利用者数も安定している。事業では、幼児ダンスサークルが近隣の介護施設を訪問するなど、地域との交流を促進する事業を積極的に展開している。なお、事故発生時の対応に一部不備があったが、マニュアルを再整備するとともに、初動対応の重要性について職員間で認識を共有し、速やかに業務改善が図られた。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・事故発生時には、利用者に寄り添い、迅速かつ確実な対応ができるよう、引続き事故発生時のマニュアルの見直しと職員間での情報共有の徹底を促していく。
- ・二次避難所開設訓練の実施など、安全に対する取組についてより一層の努力を求めていく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,301,126	47,783,489	47,787,565	47,624,933
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	208,000	272,600
	計	47,301,126	47,783,489	47,995,565	47,897,533
支出	運営費	3,081,278	2,959,169	3,208,000	3,160,170
	管理費	11,359,893	11,895,218	9,103,000	8,892,251
		本部経費	4,215,258	4,591,411	60,000
	人件費	29,264,075	30,290,684	29,880,000	31,088,327
	修繕費	1,176,120	1,127,031	1,131,565	1,130,522
	その他支出	0	0	0	0
	計	44,881,366	46,272,102	43,322,565	44,271,270
収支差額		2,419,760	1,511,387	4,673,000	3,626,263

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 3 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診断を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	水道光熱費に経費縮減の努力が行われている一方、非常勤職員を増員したことにより、その他支出が増加している。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性は普通、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久二丁目25番13号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号 池袋ISPタマビル
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】調理実習室、レクホール</p> <p>【総入館者数】 110,382名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)9,152名 (乳幼児)9,821名 (小学生)9,360名 (中学生)975名 (高校生)548名 (成人)5,320名 (高齢者)17,497名 (合計)52,673名</p> <p>貸室利用者数 57,709名</p>
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	子育て中の母親だけでなく、妊娠期の方も参加できる事業を展開する。母親同士が交流できる機会を設け、子育ての仲間作りを支援し、育児による孤独感や不安を和らげる。	
【小学生】	バドミントンやミニテニスの大会を開催し、スポーツ推進に力を入れる。プレイルームの利用も多くなっていることから、ボードゲーム等の室内遊びを充実させる。	
【中高生】	お便りなどでレンタルスペースや中高生向けの事業を広報し、中高生の居場所を作る。	
【成人】	28年度に始めたパパサークルや夜間事業については、利用者が気軽に参加でき、仲間作りができる場となるよう、内容を充実させる。	
【高齢者】	日頃の成果を発表できる機会や地域のボランティアへの参加の場を提供することで、利用者の満足度を高め、地域貢献を感じていただくことを目指す。	
【世代間交流】	自然体験や工作、調理などを目的とした事業を行うため、屋上菜園の拡大・充実を進めていく。	
【地域交流】	近隣グループホーム利用者との交流や、地域と連携したイベントなどをさらに発展させる。	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児】	地元町会の協力により、プレママ会のチラシを回覧板や掲示板で周知した結果、これまでより、参加者が増えた。	
【小学生】	バドミントン大会の実施などスポーツの推進だけでなく、プレイルームでは、協調性やコミュニケーション能力を養うことができる知育玩具としてボードを取り入れた。	
【中高生】	中高生の要望に応え、お泊り会を実施した。スポーツや調理、地域清掃などを通して、中学生と高校生が交流する良い機会となった。	
【成人】	フラワーアレンジメント教室では、実施時間を夕方の時間帯に変更したことで、乳幼児の母親の参加が増え、母親同士でサークルを作りたいという自主的な活動のきっかけ作りとなった。	
【高齢者】	1月のカラオケ大会、2月の音楽祭では、日頃事業に参加していただいている方にボランティアとして運営に関わっていただくなど、社会貢献活動の場を提供した。	
【世代間交流】	屋上菜園を活用し、幼児親子のさつまいもほりや、地域団体の方と小学生の園芸サークルで荒川の伝統野菜を作るなど、様々な世代での交流を図った。	
【地域交流】	地元の西尾久二丁目北町会と夜の警備やもちつきを協力して行い、地域の人々との交流を深めた。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			77
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合 計 (A)	100			97

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計 (B)	10			10
合計 (A+B)				107
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。特に、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。また、利用者数については、ふれあい館全体で最も高い伸び率を示しており、充実したサービスを提供していることが、利用者数にも表れている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

日常業務のより一層の効率化に取り組むとともに、これまで以上に積極的かつ多様な事業の実施に努めるよう促していく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	49,835,539	50,624,729	52,899,921	52,077,390
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	291,000	350,846
	計	49,835,539	50,624,729	53,190,921	52,428,236
支出	運営費	1,656,442	2,259,803	2,301,440	2,994,819
	管理費	13,806,766	16,335,364	12,297,496	14,123,701
		本部経費	2,899,998	5,381,594	1,400,000
	人件費	33,860,605	28,577,609	32,609,641	31,875,448
	修繕費	448,718	698,652	1,382,344	1,294,006
	その他支出	0	0	0	0
	計	49,772,531	47,871,428	48,590,921	50,287,974
収支差額	63,008	2,753,301	4,600,000	2,140,262	

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、総勘定元帳、各証憑書類等を確認した結果、一部決算書に関する指摘事項について速やかに改善され、また、追加の資料が提出された。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収支差額に差異があるが、綿密な原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	消耗品費、役務費、利用者保険料、運営費が増加しているが、物品修繕費について経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、一部就業規則、雇用契約書及び36協定に関する指摘事項について速やかに改善され、また、追加の資料が提出された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	西尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久八丁目3番31号
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区神田猿樂町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成16年10月12日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月12日
指定期間		平成28年4月1日～平成33年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、だれでもトイレ（学童クラブ併設）</p> <p>【総入館者数】 61,186名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)8,221名 (乳幼児)11,520名 (小学生)10,007名 (中学生)2,176名 (高校生)200名 (成人)3,511名 (高齢者)5,793名 (合計)41,428名</p> <p>貸室利用者数 19,758名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	各種子育て支援事業を通じて、乳幼児と保護者が気軽に安心して利用できるよう配慮し、育児に伴う保護者の孤立を防ぐ。	
【小学生】	安心・安全に遊べる環境を整備するとともに、季節行事については、子どもたちが興味を持って参加できるよう、内容を精査する。	
【中学生】	中高生の要望を事業に反映させるとともに、サマーボランティアをはじめとした、中高生がふれあい館や地域で活躍できる機会を提供する。	
【成人】	成人向けに多目的室を開放するほか、「パドミントン」や「卓球」、「ラグビー」等の事業を積極的に実施し、成人世代が来館するきっかけを多く提供する。	
【高齢者】	健康で充実した生活を送れるよう、高齢者向けに各種事業を実施する。	
【世代間交流】	コーラスとフラダンスにおいて、各世代が交流できる事業を実施する。	
【地域交流】	地域の高齢者施設との交流や、地元町会の夏祭りへの参加を通じて、地域との交流を図る。	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児】	子育て世代の母親がリフレッシュできる交流会を実施したほか、「パパとあそぼう」では、「さつま芋の田植え」や「流しそうめん」、「芋ほり体験」を実施し、申込日には早々に満員になってしまったなど、大変好評であった。	
【小学生】	性格の異なる4つのサークル活動を展開したほか、「おばけやしき」や「クリスマス会」では、実行委員会形式で子どもたちが主体的かつ意欲的に活動できるよう支援した。	
【中学生】	新中学1年生を対象とした「あつまれ新中学生」を実施した結果、中高生の安定した利用があったほか、各種ボランティアや職場体験を通じて、多世代と関わる機会を提供した。	
【成人】	月1回のスポーツタイムを実施したほか、スポーツや楽器演奏等の親子で参加できる事業を実施し、参加者からは好評であった。	
【高齢者】	定例の「合唱」や「ふれあいカフェ」、「カラオケ」のほか、幼児との交流事業や遠足を実施し、高齢者が充実した生活を送れるよう支援した。	
【世代間交流】	「コーラス」と「フラダンス」では、子どもから高齢者まで幅広い世代の方が参加し、演奏や踊りを通じて、充実した交流を図ることができた。	
【地域交流】	ミニボランティア実行委員会の子どもたちを中心に、地域の高齢者施設を訪問するなど、地域との関わりを深めた。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			70
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	3	60%	12
合 計 (A)	100			90

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	3	60%	2.4
合 計 (B)	10			8
合 計 (A+B)				98
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。特に、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。また、子どもたちによる高齢者施設の訪問や地域情報誌の作成、各種地域イベントへの協力、中学校の職業体験の受け入れなど、積極的に地域と連携した事業を展開している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者数の増加に向けて、なお一層地域住民のニーズの的確な把握に努め、事業に反映するよう促していく。
- ・上級救命講習の受講率の向上など、安全に対する取組についてより一層の努力を求めている。

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,749,823	48,272,588	49,048,028	48,829,943
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	370,900	365,580
	計	47,749,823	48,272,588	49,418,928	49,195,523
支出	運営費	2,885,834	2,949,468	3,000,000	2,501,411
	管理費	11,637,961	11,813,702	11,782,195	12,974,358
		本部経費	3,297,136	3,632,901	1,305,143
	人件費	27,279,662	28,457,394	27,181,927	27,306,994
	修繕費	1,093,986	1,133,568	1,882,547	1,664,462
	その他支出	0	0	0	0
	計	42,897,443	44,354,132	43,846,669	44,447,225
収支差額		4,852,380	3,918,456	5,572,259	4,748,298

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 3 平成 2 9 年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の 2 分の 1 を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診断を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	職員が清掃するなど清掃委託、備品を丁寧に扱ったため修繕費に経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、協定締結日漏れなどあるが、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	東日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里一丁目17番13号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ(学童クラブ併設)</p> <p>【特徴ある施設】音楽室</p> <p>【総入館者数】60,173名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)10,155名 (乳幼児)11,545名 (小学生)8,962名 (中学生)1,117名 (高校生)283名 (成人)3,861名 (高齢者)6,672名 (合計)42,595名</p> <p>貸室利用者数 17,578名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	多様化する子育て需要に対応した乳幼児タイムを実施し、のびのびと利用できる環境を整備するとともに、保護者向けの各種講座と、保護者のリフレッシュを目的とした事業の充実を図る。	
【小学生】	大規模イベントや日々の継続的な活動を通じて、様々な体験が得られるよう事業を展開するとともに、各種遊びを通じて、子どもたちの心身の健やかな成長を支援する。	
【中学生】	中高生のボランティアを積極的に受け入れ、主体的に事業に参加できる環境を整えとともに、中高生が抱える悩みや問題を解決できる力となれるよう関わっていく。	
【成人】	成人世代の地域活動の拠点として、利用者のニーズを把握し、幅広い年齢層に対応した事業を展開する。	
【高齢者】	各種事業を通じて、高齢者の生活と文化の質の向上を図り、「仲間づくり」や「生きがい」の創出を支援する。	
【地域交流】	地域の動向をきめ細かく把握し、地域と連携した事業を積極的に実施する。	
平成29年度の実績		
【乳幼児】	乳幼児クラスの充実を図ったほか、新規事業として、子育て世代の父親のリフレッシュを目的とした事業と、出産前の母親の交流の場を提供する「プレママサロン」を実施した。	
【小学生】	大規模イベントでは、子どもたちが実行委員となって事業に主体的に参加していたほか、日常の各種遊びや制作にも意欲的に参加しており、子どもたちの健やかな成長を支援した。	
【中学生】	各イベント時に中高生のボランティアを積極的に活用したほか、卓球スペースの利用時間を拡大するなど、中高生が利用しやすい環境を整備した。	
【成人】	ヨガや手芸等の人気の高い講座を実施し、多くの方に参加していただいたほか、定員を超えてしまうものについては、申込方法を見直し、事業に均等に参加できるよう配慮した。	
【高齢者】	ふれあい館独自のサロン事業として、体操、ぬり絵、テーブルゲームや各種情報提供を行い、地域のコミュニティの拠点としての役割を果たした。	
【地域交流】	お祭りや文化祭、ハロウィン、フリーマーケットなど、地域と連携して事業を実施した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			18
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			68
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合計(A)	100			86

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
安全に対する積極的な取組を行っている	4	4	80%	3.2
合計(B)	10			8.4
合計(A+B)				94.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、積極的に事業を実施しており、利用者の事業に対する満足度も高い。また、利用者数も安定している。事業では、地域と連携して各種イベントを実施したほか、お祭りや防災訓練等の地域活動にも参加・協力するなど、積極的に地域との連携を図っている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者の事業に対する満足度の向上を目指し、利用者ニーズのより一層の的確な把握に努め、事業に反映させるよう促していく。
- ・職員の接遇の更なる向上に向け、なお一層職員研修を積極的に実施するよう促していく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	45,986,456	47,469,955	52,469,833	51,393,246
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	420,000	0
	計	45,986,456	47,469,955	52,889,833	51,393,246
支出	運営費	2,587,243	1,855,467	3,158,481	2,942,504
	管理費	7,186,159	6,888,826	10,314,904	8,809,195
		本部経費	1,200,000	1,200,000	636,074
	人件費	35,469,540	37,500,910	38,158,283	37,737,115
	修繕費	604,908	1,108,152	1,095,665	1,091,089
	その他支出	0	0	0	0
	計	45,847,850	47,353,355	52,727,333	50,579,903
収支差額		138,606	116,600	162,500	813,343

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、総勘定元帳、各証憑書類等を確認した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費、消耗品費、物品修繕費、役務費、委託料について経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、一部就業規則、雇用契約書及び賃金台帳に関する指摘事項について、改善の計画がある。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、安定性が特に優れており、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、労務面は良好、財務面は優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】レクリエーションホール</p> <p>【総入館者数】 109,490名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)11,454名 (乳幼児)12,527名 (小学生)16,616名 (中学生)1,251名 (高校生)106名 (成人)2,083名 (高齢者)9,841名 (合計)53,878名</p> <p>貸室利用者数 55,612名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児と保護者】	「乳幼児タイム」や「ファミリーフェスタ」、「ママフレ」等の事業を充実させるとともに、新たに「親子わくわく体操」を実施する。	
【小学生と中高生】	創作室事業の多様化(工・科学系実験教室等)と、中高生の居場所の拡大を図るとともに、新たに日舞サークル「小ざくら」を新設する。	
【成人と高齢者】	「スポーツ吹き矢」や「輪投げ」等の大会を充実させるとともに、新たに地域の歌活動「みんなで唄おう」を支援する。	
【世代間交流】	夏・春まつり、バスハイク、餅つき大会、文化祭、日暮里コミュニティ訪問等の世代間交流事業を重点的に実施する。	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児と保護者】	新規事業の「親子わくわく体操」では、法人本部のサポートを受けながら実施し、参加者からも好評であった。また、保護者の心身のリフレッシュを目的とする「ママフレ」では、託児担当の職員数を増加し、より参加しやすい環境を整備した。	
【小学生と中高生】	職員の分担を見直し、創作室の開室時間を増加させた結果、同室の利用者数も大きく増加した。また、新たに設立した日舞サークル「すずらん」は、「ふれあいまつり」と「交流フェスタ」で発表できるまでに成長し、内外から高い評価を受けた。	
【成人と高齢者】	「スポーツ吹き矢検定」と「輪投げ大会」を定例化するとともに、「みんなで唄おう」への支援では、歌集の貸出しや会場の設営、地元シンガーソングライターへの架け橋役となるなど、幅広く支援した。	
【世代間交流】	東日暮里・西日暮里ふれあい館と連携し、分散して文化祭を実施したところ、それぞれの発表会場では大勢の参加者で賑わうなど、世代間の交流を促進する事業を実施した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			19
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			72
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	3	60%	3
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合計(A)	100			91

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	4	80%	3.2
合計(B)	10			9.2
合計(A+B)				100.2
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

施設の維持管理については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、利用者の事業に対する満足度も高く、適切に運営がされている。特に、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。また、事業では、お祭りや文化祭、餅つき大会、バスハイクなど、地域と連携して幅広く多様な事業を展開している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

効果的な情報発信に向け、ポスターや館だより等の作成に当たっては、より一層の工夫を求めていく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	48,445,724	48,368,833	48,359,894	47,639,093
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	119,975	118,162	495,400	740,060
	計	48,565,699	48,486,995	48,855,294	48,379,153
支出	運営費	2,962,473	3,194,346	3,640,991	3,609,309
	管理費	9,889,468	10,455,744	8,271,116	7,875,764
		本部経費	2,186,365	2,724,238	0
	人件費	35,107,235	34,408,295	35,043,516	34,675,393
	修繕費	606,523	428,610	419,671	402,840
	その他支出	0	0	0	0
	計	48,565,699	48,486,995	47,375,294	46,563,306
収支差額	0	0	1,480,000	1,815,847	

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の診断を行った結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	職員が自ら修繕する、清掃をするなど費用削減している。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、労働条件通知書の職員署名日付けが遅れているものがあるが、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面は優良、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	西日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区西日暮里六丁目24番4号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成32年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】音楽室</p> <p>【総入館者数】60,597名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)8,392名 (乳幼児)9,088名 (小学生)7,344名 (中学生)570名 (高校生)386名 (成人)1,914名 (高齢者)7,163名 (合計)34,857名</p> <p>貸室利用者数 25,740名</p>	
平成29年度の事業計画		
【乳幼児】	乳幼児向けの事業を充実させ、子育てに対する不安を解消し、保護者同士の交流を促進するよう支援する。	
【小学生】	小学生がのびのびと利用できるような環境を整備するとともに、子どもたちの興味・関心をきめ細かく把握し、遊びを通じて心身の健やかな成長を支援する。	
【中高生】	中高生向けのスポーツタイムを設けるなど、中高生が利用しやすい環境を整備する。	
【成人】	利用者の要望を取り入れ、人気の高い事業については、実施方法を創意工夫し、利用者にとって魅力ある事業を実施する。	
【高齢者】	地域のコミュニティ活動の拠点施設として、高齢者の生活と文化の向上に向けて各事業に取組、「仲間づくり」や「生きがい」の創出を支援する。	
【地域交流】	地域の関係機関等と連携して積極的に事業を実施し、地域内の交流を充実させる。	
平成29年度の事業実績		
【乳幼児】	年齢別の幼児タイムでは、施設改修工事の影響を最小限に抑えながら、保護者同士の交流の機会を積極的に設け、年間をとおして利用できる環境を整備した。	
【小学生】	各種スポーツ事業や創作活動、デイキャンプ等の大型行事を実施し、小学生が安心して過ごせる居場所を整備した結果、小学生の来館者数も増加した。	
【中高生】	中高生のバスケット等での利用が増え、職員と関わる機会が増えた結果、日常生活や進路に関する相談も増加し、良好な関係を構築することができた。	
【成人】	人気の高いヨガ講座とエアロビ講座を多目的室で実施するなど、より多くの方に御参加いただけるよう実施方法を工夫し、年間を通じて多くの方に御来館いただいた。	
【高齢者】	カラオケ、詩吟、踊り、盆踊り等の事業を年間をとおして実施し、利用者の「仲間づくり」と「生きがい」の創出を支援した。	
【地域交流】	地域の商店街や保育園、区施設等と連携して、大規模イベント「ハッピーハロウィンパレード」を実施するなど、地域コミュニティの拠点としての役割を果たした。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			18
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			64
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	4	80%	16
合 計 (A)	100			82

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
安全に対する積極的な取組を行っている	4	4	80%	3.2
合 計 (B)	10			8.4
合 計 (A+B)				90.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。「区民サービス」及び「その他の評価項目」については、積極的に事業を実施しており、利用者の事業に対する満足度も高い。また、近隣の商店街や保育園等と連携してハロウィンイベントを実施したほか、地域のペットボトルキャップの収集活動に協力するなど、地域と連携した事業も積極的に展開している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者の事業に対する満足度の向上と利用者数の増加を目指し、利用者や地域住民のニーズのより一層的確な把握に努め、事業に反映させるよう促していく。
- ・職員の接遇の更なる向上に向け、なお一層職員研修を積極的に実施するよう促していく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	46,941,029	47,412,633	52,433,173	51,130,605
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	310,000	0
	計	46,941,029	47,412,633	52,743,173	51,130,605
支出	運営費	2,501,444	1,856,116	3,072,533	3,015,238
	管理費	7,772,972	6,047,592	10,553,769	8,326,659
		本部経費	1,200,000	300,000	636,074
	人件費	35,867,089	38,715,175	38,158,283	37,845,241
	修繕費	782,460	775,548	796,088	793,764
	その他支出	0	0	0	0
	計	46,923,965	47,394,431	52,580,673	49,980,902
収支差額		17,064	18,202	162,500	1,149,703

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、総勘定元帳、各証憑書類等を確認した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱費、役務費、委託料について経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、一部賃金台帳、社会保険及び雇用保険に関する指摘事項について、改善の計画がある。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、安定性が特に優れており、成長性、収益性、活動性・健全性等が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、労務面は良好、財務面は優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区民会館（サンパール荒川）
	所在地	荒川区荒川一丁目 1 番 1 号
指定管理者	名称	M K T 共同事業体 (構成団体:代表企業:三菱電機ビルテクノサービス株式会社、株式会社共立、株式会社スペースネットワーク)
	所在地	荒川区荒川七丁目 19 番 1 号(代表企業所在地)
施設開設年月日		昭和 50 年 3 月 28 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 18 年 4 月 1 日
指定期間		平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
業務内容	<p>1 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務</p> <p>2 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務</p> <p>3 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務</p> <p>4 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務</p> <p>5 施設等の維持管理に関する業務</p> <p>6 前 5 号のほか、区長が必要と認める業務</p> <p>< 施設の概要 ></p> <p>大ホール 収容人員 975 席 面積 1,162 m²</p> <p>小ホール 収容人員 300 席（移動席）面積 281 m²</p> <p>集会室 第 1（洋室）定員 50 名 面積 78 m²</p> <p>第 2（洋室）定員 50 名 面積 73 m²</p> <p>第 3（洋室）定員 50 名 面積 85 m²</p> <p>第 2・3 は通し使用可能</p> <p>第 4（和室）定員 40 名 面積 90 m²</p> <p>第 5（洋室）定員 50 名 面積 92 m²</p> <p>第 6（洋室）定員 50 名 面積 99 m²</p> <p>第 5・6 は通し使用可能</p> <p>第 7（洋室）定員 100 名 面積 184 m²</p>	
平成 29 年度の事業計画		
<p>1 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書、統計資料の作成及び区への報告、意見交換会開催、利用者アンケート集計、情報誌発行、行事案内等</p> <p>2 研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報の取扱いに関する研修、ビジネスマナー研修等</p>		
平成 29 年度の事業実績		
<p>1 上記管理運営事務の実施</p> <p>2 利用料金収入 75,235,088 円</p> <p>3 稼働率 大ホール 62.6% 小ホール 55.3% 集会室 40.6%</p> <p>4 利用者数 大ホール 156,510 人 小ホール 53,329 人 集会室 80,518 人</p>		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス				
利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	4	80%	12
利用者の意見を取入れ、改善につなげている	10	3	60%	6
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計(A)	100	-	-	78
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
区内事業者を活用している	5	4	80%	4
周知活動に努めている	5	4	80%	4
合計(B)	10			8
合計(A+B)				86
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、作成した「維持管理計画表」による一括した設備管理、利用状況に応じた柔軟な職員配置の変更などが見られ、適正に管理されていた。</p> <p>「区民サービス」については、主催者要望を取り入れた積極的な公演内容のPR、事故・苦情等の原因分析による再発防止への取り組みが見られ、利用者満足度向上に努めていた。</p> <p>「その他の評価項目」については、修繕工事では、36件中、専門性の高い工事等の17件を除く他の19件全てが区内業者に発注されていた。</p> <p>また、新規利用者の獲得向上策の一環として、施設への理解を深めてもらうため、月刊情報紙について、催事やギャラリー展示の掲載において記載内容の充実を図り、利用者に手に取ってもらえるよう工夫した。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>利用者アンケートの収集数は昨年度に比べて増加したものの、依然として少なく、積極的に多くの意見を集める必要がある。</p> <p>より多様化したニーズに柔軟に対応できるよう一層の体制強化が望まれる。</p> <p>平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。</p>				

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	37,133,192	154,850,000	171,779,600	154,312,600
	利用料金収入	0	65,887,344	63,434,000	75,235,088
	その他収入	3,727,318	5,386,790	6,206,000	5,115,925
	計	40,860,510	226,124,134	241,419,600	234,663,613
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	18,091,545	151,575,603	166,416,600	148,926,665
	本部経費	3,674,304	26,341,962	25,866,000	20,126,716
	人件費	21,457,647	59,074,617	60,240,000	64,951,604
	修繕費	176,040	8,587,782	9,763,000	8,292,325
	その他支出	0	4,124,304	5,000,000	3,841,236
	計	39,725,232	223,362,306	241,419,600	226,011,830
収支差額		1,135,278	2,761,828	0	8,651,783

(施設決算状況の説明)

平成 2 7 年度：大規模改修実施のため受付営業のみ

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、事業報告書等が適正に作成されており、科目別内訳表の提出があり、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	人件費等一部予算と実績の間に乖離が見られるが、合理的な理由、および予算精度向上の意志が示され、改善の見込みがある。	
会計	経費の効果的活用が行われている	一部の費目について経費削減努力が見られた一方、予算を上回る費目があったが、経費削減に向けた意志が示され、改善の見込みがある。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、賃金台帳等の追加提出があり、指摘事項について合理的な理由が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、成長性と安全性に一部注意を要するものの、事業を安全に遂行するに足る財務体質を備えている。	良好

総合評価

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、荒川区民会館における指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	日暮里サニーホール
	所在地	荒川区東日暮里五丁目50番5号 ホテルラングウッド4・5階
指定管理者	名称	日暮里サニーホールさくらグループ (構成団体: 代表企業・株式会社コングレ、株式会社共立、株式会社スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麹町五丁目1番 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成元年2月9日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p style="margin-top: 10px;"><施設の概要> 多目的ホール 収容人員500名(フラット時)/面積404㎡ コンサートサロン 収容人員100名(フラット時)/面積113㎡ 会議室 第1会議室 収容人員24名(面積57㎡) 第2会議室 収容人員12名(面積25㎡) 第3会議室 収容人員12名(面積28㎡) 第2,3会議室は通し使用可能</p>	
平成29年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 普通救命講習、個人情報保護研修、環境研修、衛生講習、その他施設運営に必要な研修 		
平成29年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記管理運営事務の実施 2 利用料金収入 57,465,600円 3 稼働率 ホール68.6% コンサートサロン90.4% 会議室72.1% 4 利用者数 ホール69,066人 コンサートサロン34,131人 会議室42,207人 		

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60			48
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス	40			30
利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	4	80%	12
利用者の意見を取り入れ、改善につなげている	10	3	60%	6
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計(A)	100	-	-	78

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
区内業者を活用している	5	4	80%	4
周知活動に努めている	5	4	80%	4
合計(B)	10	-	-	8
合計(A+B)				86
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、スタッフ全員による徹底した日常点検と計画的な保守点検を実施しており、適正な管理がなされていた。

「区民サービス」については、日頃から利用者とのコミュニケーションを緊密に行い、施設や設備等に対する意見や要望の収集に努めている。意見や苦情に対しては、真摯な対応を行い、要因の解明・再発防止策の検討を行っていた。

「その他の評価項目」については、消耗品購入や修繕工事に際して可能な限り区内事業者への発注を行っている。消耗品購入では32件中13件(40.6%)、修繕工事では16件中4件(25%)を区内業者に発注していた。

また、同一の指定管理者である事を活かし、それぞれの利用者にもう一方の施設をPRするなど周知に努めた。その手段の1つとして、両施設の情報をまとめた情報紙「サニー・プレス(ムーブ・プレス)」の発行(月1回)を継続し、コラム欄では区の街歩きスポットを紹介する等、区民が手に取りやすいよう工夫を施した。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

利用者の声を反映させるため、アンケートの集計結果をもとに今後の分析を行う必要がある。

より多様化したニーズに柔軟に対応できるよう一層の体制強化が望まれる。

平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	41,682,000	37,725,000	44,590,000	36,607,000
	利用料金収入	59,291,200	56,923,050	53,228,000	57,465,600
	その他収入	168,361	180,352	0	150,712
	計	101,141,561	94,828,402	97,818,000	94,223,312
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	43,713,941	42,459,608	53,360,774	35,360,955
		本部経費	-2,433,023	931,646	5,612,914
	人件費	46,717,925	46,241,679	41,693,485	51,869,593
	修繕費	2,246,202	2,472,496	2,763,741	2,604,452
	その他支出	0	0	0	0
	計	92,678,068	91,173,783	97,818,000	89,835,000
収支差額		8,463,493	3,654,619	0	4,388,312

(施設決算状況の説明)

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	一部予算と実績の間に乖離が見られるが、合理的な理由、および予算精度向上の意志が示され、改善の見込みがある。	
会計	経費の効果的活用が行われている	一部の費目について経費削減努力が見られた一方、予算を上回る費目があったが、経費削減に向けた意志が示され、改善の見込みがある。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認したところ、雇用契約書の記載方法になお努力を要するものの、指摘事項について概ね改善の意志が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安全性、活動性・健全性等、一部注意を要するものの、事業を安全に遂行するに足る財務体質を備えている。	良好

総合評価

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、日暮里サニーホールにおける指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	ムーブ町屋
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号 センターまちや3・4階
指定管理者	名称	ムーブ町屋さくらグループ (構成団体：代表企業・株式会社コングレ、株式会社共立、株式会社スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麹町五丁目1番 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成8年6月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務</p> <p>2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務</p> <p>3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務</p> <p>4 施設等の維持管理に関する業務</p> <p>5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務</p> <p>6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務</p> <p>7 前6号のほか、区長が必要と認める業務</p> <p><施設の概要></p> <p>多目的ホール 収容人員296席/面積343m²</p> <p>会議室A(ハイビジョンルーム) 収容人員70席/面積59m²</p> <p>会議室B(ミニギャラリー) 収容人員28名/面積70m²</p> <p>スタジオ 収容人員10名程度/面積51m²</p> <p>企画展示コーナー オープンスペース/面積145m² (ギャラリー) (4階全施設を使用する場合185m²)</p>	
平成29年度の事業計画		
<p>1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行</p> <p>2 研修 普通救命講習、舞台安全管理研修、個人情報取扱研修、その他施設運営に必要な研修</p>		
平成29年度の事業実績		
<p>1 上記管理運営事務の実施</p> <p>2 利用料金収入 32,143,650円</p> <p>3 稼働率 ムーブホール64.1% 会議室A 54.1% 会議室B 70.7% スタジオ77.5% 企画展示コーナー(ギャラリー) 52.9%</p> <p>4 利用者数 ムーブホール40,728人 会議室A・B 9,627人 スタジオ・ギャラリー34,431人</p>		

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				48
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス				30
利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	4	80%	12
利用者の意見を取り入れ、改善につなげている	10	3	60%	6
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計(A)	100	-	-	78

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
区内業者を活用している	5	4	80%	4
周知活動に努めている	5	4	80%	4
合計(B)	10	-	-	8

合計(A+B)

86

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

評価内容

「施設の維持管理」については、スタッフ全員による徹底した日常点検と計画的な保守点検を実施しており、適正な管理がなされていた。

「区民サービス」については、日頃から利用者とのコミュニケーションを緊密に行い、施設や設備等に対する意見や要望の収集に努めている。意見や苦情に対しては、真摯な対応を行い、要因の解明・再発防止策の検討を行っていた。

「その他の評価項目」については、消耗品購入や修繕工事に際して可能な限り区内事業者への発注を行っている。消耗品購入では44件中28件(63.6%)、修繕工事では17件中6件(35.2%)を区内業者に発注していた。

また、同一の指定管理者である事を活かし、それぞれの利用者にもう一方の施設をPRするなど周知に努めた。その手段の1つとして、両施設の情報をまとめた情報紙「サニー・プレス(ムーブ・プレス)」の発行(月1回)を継続し、コラム欄では区の街歩きスポットを紹介する等、区民が手に取りやすいよう工夫を施した。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

利用者の声を反映させるため、アンケートの集計結果をもとに今後の分析を行う必要がある。

より多様化したニーズに柔軟に対応できるよう一層の体制強化が望まれる。

平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	35,011,000	35,524,000	35,580,000	35,550,000
	利用料金収入	32,648,600	31,446,750	29,363,000	32,143,650
	その他収入	259,579	232,339	0	270,137
	計	67,919,179	67,203,089	64,943,000	67,963,787
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	29,930,923	31,150,227	30,021,454	23,963,488
	本部経費	6,347,261	10,483,878	3,930,171	1,460,310
	人件費	32,259,064	29,349,873	32,097,571	38,227,580
	修繕費	2,723,013	2,744,176	2,823,975	2,722,572
	その他支出	0	0	0	0
	計	64,913,000	63,244,276	64,943,000	64,913,640
収支差額	3,006,179	3,958,813	0	3,050,147	

(施設決算状況の説明)

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	人件費等一部に予算と実績の間に乖離が見られるが、合理的な理由、および予算精度向上の意志が示され、改善の見込みがある。	
会計	経費の効果的活用が行われている	収支差額の実績が予算を上回り、過年度に比べ向上している。一部の費目について大幅な経費削減努力が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認したところ、雇用契約書の記載方法になお努力を要するものの、指摘事項について概ね改善の意志が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安全性、活動性・健全性等、一部注意を要するものの、事業を安全に遂行するに足る財務体質を備えている。	良好

総合評価

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、ムーブ町屋における指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	町屋文化センター
	所在地	荒川区荒川七丁目 20 番 1 号
指定管理者	名称	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団
	所在地	荒川区荒川七丁目 20 番 1 号
施設開設年月日		昭和 63 年 11 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 18 年 4 月 1 日
指定期間		平成 30 年 4 月 1 日～平成 35 年 3 月 31 日
業務内容	<p>生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習、文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内等を行う。</p> <p>【施設概要】 会議室 4 室（33 人～45 人）、多目的ホール（154 人）、音楽練習室、ふれあい広場</p>	
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。 ・カルチャー講座は、新規講座の充実を図り、既存の講座の充実も継続して図っていく。 ・自主事業として、利用者や地域住民が自由に鑑賞できる「なないろひろば」や「一日文化体験フェア」等を開催し、普段あまり来館しない利用者層にも足を運んでもらうきっかけ作りとする。 ・年 2 回のアンケートのほか、意見箱・懇親会等により、時期によって異なる要望を把握し、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。 ・貸出施設及び館内の案内・施設問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「なないろひろば事業」は開催 6 年目となり、延べ 1,150 人の参加があり、地域事業として根付いてきている。また、「一日文化体験フェア」では体験講座に加え、特別講演会やスタンプラリー、被災地支援物産展など工夫を凝らして事業を展開し、延べ 900 人の参加があった。 ・カルチャー講座は 689 講座を実施し、受講者は 4,388 人と前年度同様の受講者数を維持した。 ・施設管理については、老朽化した設備や備品等の修繕を管理者として実施した他、一部のウォシュレット改修やバレーパーの更新等を行い、附帯設備の充実を図った。 ・無断駐輪への対策として、駐輪所の駅側の柵を修繕し出入りができないように改善した。また、無断駐輪防止のステッカーを作成し、開館前の自転車に貼るなどすることで、数十台あった無断駐輪の自転車を数台まで減らすことができた。 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				26
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	5	100%	10
業務に関連した研修について、職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス				56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組等を行っている	20	4	80%	16
合計(A)	100			82
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	4	80%	4
区内事業者の活用	5	4	80%	4
合計(B)	10			8
合計(A+B)				90
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>・「一日文化体験フェア」や「なないろひろば」等の地域住民が気軽に参加できる事業の他、プレイコーナーを「街なか避暑地」や「ほっとサロン」として開放し、地域交流の場としても活用している。</p> <p>・29年度は13の再委託業務のうち9業務について区内の業者を活用し、消耗品購入や修繕等でも可能な限り区内業者を活用するようにしている。</p> <p>・職員は、公共施設の維持・管理に関する研修や、感染症予防研修会に参加し、施設管理者として必要な知識を深めた。また、イラストレーター講習を受講し、チラシ作成のためのスキルアップを図った。</p> <p>・駐輪場については、施設利用者以外の駐輪が多く、利用者から苦情をいただいていたが、無断駐輪を防止する注意喚起のラベルを定期的に貼りつけたり、駅側の出入り口を閉鎖したりしたところ、毎朝30台ほどあった無断駐輪が2～3台まで激減した。無断駐輪に対する苦情も減らすことができた。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>施設の老朽化により傷・汚れが目立つ部分があるため、清掃等により清潔感を保つとともに、今後も引き続き利用者の立場に立って、工夫することにより改善できることは積極的に対応していく。</p>				

施設決算状況					
年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	24,192,000	24,257,000	24,192,000	24,192,000
	利用料金収入	14,143,250	13,928,050	13,729,000	13,598,650
	その他収入	175,198	285,802	153,000	349,132
	計	38,510,448	38,470,852	38,074,000	38,139,782
支出	運営費	1,144,089	1,122,484	1,433,368	1,075,911
	管理費	29,665,953	29,705,557	30,238,744	29,765,260
	本部経費	0	0	0	0
	人件費	3,891,888	3,737,456	3,891,888	3,694,260
	修繕費	2,510,460	2,319,694	2,510,000	2,615,263
	その他支出	0	0	0	0
	計	37,212,390	36,885,191	38,074,000	37,150,694
収支差額		1,298,058	1,585,661	0	989,088

(施設決算状況の説明)

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、経費計算の精度向上が図られている。	良好
	予算管理が適正である	研修費等一部予算と実績の間に乖離が見られるが、原因分析が十分行われており、合理的な理由が示された。	
会計	経費の効果的活用が行われている	研修費等一部予算を上回った項目が見られた一方、消耗品費等の費目で経費削減に向けた取組の成果が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は良好であり、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	生涯学習センター
	所在地	荒川区荒川三丁目 4 9 番 1 号
指定管理者	名称	株式会社 読売・日本テレビ文化センター
	所在地	江東区清澄一丁目 2 番 1 号
施設開設年月日		平成 9 年 7 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 1 8 年 4 月 1 日
指定期間		平成 2 7 年 4 月 1 日 ~ 平成 3 0 年 3 月 3 1 日
業務内容		<p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や、多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室 5 室（30 人～80 人）、音楽室（40 人）、多目的室（60 人）、コンピューター室、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p>
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・区民カレッジについては、「ギリシャ神話」の講座や、「天気」、「英語」に関する講座等、今までにないジャンルの講座を実施していく。特別講演会では、荒川区が取り組むGAHとも関連のあるブータンへの理解を深める講座を実施する。 ・IT講習会は、初歩的な講座よりも実践的な講座を求める傾向が強くなっているため、「年賀状作成」や「パワーポイント」などの実用講座を設定し、区民のパソコンスキルの向上を支援していく。 ・施設管理については、利用者が安全で快適に過ごせる施設を目指して、利用者の要望が多い部分について優先的に修繕を行う。受付業務については、積極的に挨拶・声掛けを行うなど、親しみのもてる雰囲気づくりに努める。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・区民カレッジは、年間受講者の総数は4,053人と前年度より382人増加した。全体として多くの応募者があり、安定した参加実績が続いている。 ・IT講習会は、一人ひとりの受講者ニーズに対応するため、引き続き段階的な講座構成により実施した。また、区内施設でチラシを配布し、新規の参加者獲得につなげた。 ・施設管理としては、昨年度に引き続き、女子トイレ1か所を洋式化するなど、利用者の要望が多い箇所を優先して修繕を実施した。 ・受付業務については、利用者に積極的に挨拶を行い、接遇の向上と利用者にも親しまれる雰囲気づくりに努めた他、あいさつ月間を設定し、玄関に職員が立ち、お迎えした。また、施設アンケートは多くの団体等に呼びかけ、798枚を回収し、利用者の声の把握に努めた。 		

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				26
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	5	100%	10
業務に関連した研修について、職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス				56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組等を行っている	20	4	80%	16
合 計 (A)	100			82

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	4	80%	4
区内事業者の活用	5	4	80%	4
合 計 (B)	10			8

合計 (A+B)

90

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

評価内容

- ・職員の接遇に関して、講師を招き「更なる受付・好感度アップ」研修を実施し、夜間・土日受付業務のシルバー人材センターの職員も含めた16人が受講した。各職員は、研修を通じて利用者対応に関する発声法を学び、接遇スキルの向上に取り組んでいる。
- ・今年度からシルバー大学事務局に参加を呼びかけ、教育センター、ふらっとフラットを含めた施設全体で防災訓練を実施した。避難誘導や消火器操作の他、荒川消防署員の指導のもとAEDの使用方法を学び、安全管理体制の強化を図った。
- ・29年度は13の再委託業務のうち9業務について区内の事業者を活用し、修繕工事は、9割以上を区内事業者へ依頼した。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者アンケートでは、区民カレッジの応募が多く、抽選に外れるとの声が多い。少しでも多くの方が受講できるよう、講座数を増やすなどの対応を行っていく必要がある。

施設決算状況					
年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	60,940,000	60,818,900	61,739,300	61,739,300
	利用料金収入	2,111,720	1,995,544	2,100,000	2,088,429
	その他収入	301,513	218,659	221,500	223,640
	計	63,353,233	63,033,103	64,060,800	64,051,369
支出	運営費	7,543,740	8,285,039	7,261,000	6,977,359
	管理費	32,218,925	32,735,464	34,709,800	34,685,030
	本部経費	7,073,519	6,186,000	7,244,000	7,244,000
	人件費	19,035,245	19,902,564	20,090,000	19,901,955
	修繕費	2,351,349	2,008,584	2,000,000	2,178,186
	その他支出	0	0	0	0
	計	61,149,259	62,931,651	64,060,800	63,742,530
収支差額		2,203,974	101,452	0	308,839

(施設決算状況の説明)

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	研修費等一部予算と実績の間に乖離が見られるが、原因分析が十分行われており、合理的な理由が示された。	
会計	経費の効果的活用が行われている	収入は昨年度に比べ増加し、またいくつかの費目において、経費削減努力が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は良好であり、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	清里高原ロッジ・清里高原少年自然の家
	所在地	山梨県北杜市高根町清里 3 5 4 5 番地 5
指定管理者	名称	ニッコトラスト・東京パワーテクノロジープロジェクト (構成団体：代表企業・(株)ニッコトラスト、東京パワーテクノロジー(株))
	所在地	中央区日本橋堀留町二丁目 4 番 3 号 新堀留ビル 9 階 (代表企業所在地)
施設開設年月日		昭和 5 8 年 4 月 1 5 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 1 8 年 4 月 1 日
指定期間		平成 2 7 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日
業務内容	<p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室等の利用者が、自然観察等を行えるように賄業務や宿泊業務等のサービス提供と、利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備等の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員：ロッジ 3 5 人、少年自然の家 2 0 0 人 ・ロッジ：宿泊室 1 2 畳 5 室、9 畳(ベッド) 1 室 研修室洋間 5 5 m²、談話室、食堂、浴室 ・少年自然の家：宿泊室 2 4.5 畳 1 0 室、研修室 2 4.5 畳 1 室 リーダー室 1 0 畳 2 室・8 畳 2 室、食堂、浴室、体育館 ・開設期間(平成 2 9 年度)：4 月 2 9 日(土)～1 1 月 5 日(日) 	
平成 2 9 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務、賄業務、清掃業務、機械設備等の保守点検業務を適切に実施する。 ・自動販売機の設置による飲料水の提供や、朝・夕食時のサラダバーの設置、浴衣や歯磨きセット等のアメニティの提供等により、利用者サービスの向上を図る。 ・区報及びホームページへの施設情報の掲載により、施設の魅力を P R する。 ・自主事業として、区やレクリエーション協会との共催により、バスツアー(区民ハイキング)を実施する。 		
平成 2 9 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務、賄業務、清掃業務、機械設備等の保守点検業務について、計画どおり適切に実施することができた。賄いについては、地産野菜のサラダバーや朝食時の牛乳等のサービスなど、地域資源を活かしたおもてなしを引き続き実施し、好評であった。 ・利用者については、一般利用が 4 5 2 名増、学校利用が 1 0 名減となり、全体では 4 4 2 名増加した(総利用者数 7,5 6 6 名) ・定期的に区報及びホームページへ施設情報を掲載し施設の魅力を発信するとともに、施設の案内パンフレットを区内施設等に配布することで、施設の P R を図った。 ・区及びレクリエーション協会と協力して、1 泊 2 日のバスツアー(区民ハイキング)を 4 0 名規模で実施することができたことに加え、夏季における一般利用者の増加に向け、「ランニング合宿 I N 清里」が 2 年目となり、区民に定着し始め、昨年同様に好評であった。 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				24
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
業務に関連した研修について、職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス				62
施設利用等の満足度が高い	30	5	100%	30
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組等を行っている	20	4	80%	16
合計(A)	100			86
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	4	80%	4
自主事業への取組	5	4	80%	4
合計(B)	10			8
合計(A+B)				94
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>・日常点検や保守点検を適切に行い、不具合が生じた場合は速やかに修繕を行った。また、敷地内の雑木林を整備し、快適な環境の整備を図っている。また、利用者に速やかに温かい飲み物を配布できるよう、電気湯沸かし器を食堂内に設置するなど、ニーズに沿った設備の整備を行った。</p> <p>・利用者アンケートの「良い」の回答が、職員対応に関する項目は約96%（前年から2ポイント上昇）、施設衛生に関する項目は約90%（前年と同様）と、高い評価が継続している。</p> <p>・地産野菜や地元工場生産の牛乳を利用者に提供し、好評を得ている。また、地元シルバー人材センターの活用や清里観光振興会のホームページに施設情報の掲載を依頼するなど、地域と連携を図りながらPRに努めている。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>実際に利用した方の評判は良いものの、半数以上がリピーターであり、自主事業がランニング合宿のみであることや、フェアー食利用の減（130食→55食）等から、より一層の工夫と独自性の創出により、新たな利用者の確保が求められている。平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。</p>				

施設決算状況					
年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	51,015,000	55,826,000	56,093,000	56,093,000
	利用料金収入	20,961,640	18,017,279	19,142,000	19,082,163
	その他収入	1,734,315	807,152	1,440,000	961,379
	計	73,710,955	74,650,431	76,675,000	76,136,542
支出	運営費	1,064,967	276,210	858,000	489,712
	管理費	51,966,946	50,846,553	54,652,000	54,607,644
		本部経費	814,412	796,737	844,000
	人件費	17,093,776	16,027,697	19,063,000	19,115,970
	修繕費	2,013,281	2,132,479	2,000,000	2,801,380
	その他支出	0	0	0	0
	計	72,138,970	69,282,939	76,573,000	77,014,706
収支差額		1,571,985	5,367,492	102,000	-878,164

(施設決算状況の説明)

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	一部予算と実績の間に乖離が見られるが、原因分析が十分行われており、合理的な理由が示された。	
会計	経費の効果的活用が行われている	パート採用の不調に起因する人件費の増加があった一方、経費縮減努力が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は良好であり、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川総合スポーツセンター
	所在地	荒川区南千住六丁目 4 5 番 5 号
指定管理者	名称	TM共同事業体（構成団体：代表企業 株式会社東京アスレティッククラブ、三菱電機ビルテクノサービス株式会社）
	所在地	中野区中野二丁目 1 4 番 1 6 号（代表企業所在地）
施設開設年月日		昭和 6 0 年 6 月 2 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 1 9 年 4 月 1 日
指定期間		平成 2 8 年 4 月 1 日～平成 3 1 年 3 月 3 1 日
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターの施設及び附帯設備の使用に関する業務 ・スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関する業務 ・利用の承認及び利用の不承認に関する業務 ・利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 ・利用承認の取消し等に関する業務 ・施設等の変更の承認に関する業務 ・スポーツセンターの施設等の維持管理に関する業務 ・その他スポーツセンターの管理に関し、荒川区が必要と認める業務 	
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声に耳を傾け「安全・安心・快適」な空間を提供する。 ・区民の誰もが楽しく気軽にスポーツを楽しめる健康づくりの場を提供する。 ・人員計画に定める職員を適正に配置する。 ・子ども向け高付加価値教室を充実すると共に、安全・安心・快適な施設としての管理運営を実施する。 ・接遇研修を年 2 回以上実施すると共に、セルフモニタリングの結果を反映したサービス向上を図る。 ・経費の縮減を念頭においた運営を行い、電気・ガス・水道使用量の縮減に努める。 ・荒川区及び荒川区体育協会主催イベント等において、積極的に連携・協力する。 		
平成 29 年度の事業実績		
<p>【利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体利用者数 2 7 4, 3 3 9 人(前年度比 + 2, 6 5 1 人) ・個人利用者数 1 6 3, 9 1 2 人(前年度比 + 4, 6 4 3 人) ・利用料免除者 6 4, 3 6 6 人(前年度比 + 2, 1 8 0 人) ・教室受講者数 1 5 7, 4 2 7 人(前年度比 + 1, 4 0 7 人) 合計 6 6 0, 0 4 4 人(前年度比 + 1 0, 8 8 1 人) <p>【教室・講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定会員制教室（スポーツ教室/ 1 7 種類・1, 1 2 2 回）(水泳教室/ 1 0 種類・2, 2 3 0 回) 自由会員制教室（スポーツ教室/ 1 1 種類・6 3 3 回）(水泳教室/ 2 種類・2 8 2 回) キッズルーム教室（1 4 種類・1, 1 2 8 回） 自主事業教室（2 6 種類・1, 7 5 9 回） 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	40	-	-	-
建物・設備・備品等が適切に管理されている	10	4	80%	8
利用者が快適に利用できるよう清掃されている	10	4	80%	8
プール施設の衛生管理が適切に実施されている	10	5	100%	10
業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
区民サービス	60	-	-	-
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	15	4	80%	12
区民の体力向上・健康増進に資する事業展開を行っている	15	5	100%	15
地域との連携、地域貢献を行っている	10	4	80%	8
事故や災害発生時の適切な対応体制が構築されている	10	5	100%	10
個人情報の保護に対する体制が構築されている	10	4	80%	8
合計(A)	100	-	-	87
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
障がい者スポーツ推進の取組を実施している	5	4	80%	4
区民雇用、区内業者への発注を積極的に行っている	5	5	100%	5
合計(B)	10	-	-	9
合計(A+B)				96
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が目立つなか、安全性や利便性に配慮し、適切な施設管理が行われている。 ・施設利用者へのアンケートにおける総合的な満足度は、好意的な回答が70%を超える等、良好な評価を得ている。 ・乳児から高齢者に至るまで、様々な世代に施設を利用してもらうための新しい取組を積極的に実施し、利用者数は過去最多を更新した。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携について、自治会イベントへや総合型地域スポーツクラブへの協力等、評価できる面もあるが、より積極的な連携を行っていくことが課題である。 ・障がい者スポーツへの取組について、障がい者の利用者数は増加しているが、より障がい者が利用しやすい施設とするため、障がい者スポーツに関わる資格を有する職員をさらに増加させる必要がある。 				

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	111,079,344	102,968,028	99,960,576	99,956,536
	利用料金収入	140,034,425	163,709,485	150,331,473	162,414,975
	その他収入	23,974,951	26,389,751	21,592,157	28,474,242
	計	275,088,720	293,067,264	271,884,206	290,845,753
支出	運営費	0	986,310	2,879,974	1,708,316
	管理費	114,068,270	116,924,456	120,379,871	114,632,466
	本部経費	14,155,713	29,916,355	21,630,312	23,414,927
	人件費	113,869,408	109,836,294	110,373,620	117,506,097
	修繕費	21,731,099	15,327,847	16,620,429	16,616,389
	その他支出	0	0	0	0
	計	263,824,490	272,991,262	271,884,206	273,878,195
収支差額		11,264,230	20,076,002	0	16,967,558

(施設決算状況の説明)

- ・個人利用と教室受講の増加により、収支は予算額を上回る黒字である。
- ・「本部経費」には、共同事業体の経理に係る管理経費と教室事業の事業企画費、本部が派遣した講師及び受付に要する経費等を計上している。
- ・平成27年度の「本部経費」は、プール休業(3か月)による教室事業中止に伴い大幅に減少した。
- ・「運営費」には広告費、損害保険料を計上。(平成27年度は左記項目に関する決算は無し)
- ・なお、指定管理者は、協定に基づき「収支差額(収益)」の2分の1を区に納付する。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、一部の経費処理に関する指摘事項について、合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	一部予算と実績の間に乖離が見られるが、合理的な理由、ならびに予算精度向上への意志が示された。	
会計	経費の効果的活用が行われている	一部の費目について経費削減努力が見られた一方、予算を上回る費目があったが、経費削減に向けた意志が示され、改善の見込みがある。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、確認事項について、全て合理的な理由が示され、概ね要件を満たしている。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安全性、活動性・健全性等、一部注意を要するものの、事業を安全に遂行するに足る財務体質を備えている。	良好

総合評価

- ・サービス面、会計面、労務面は良好であり、経費の効果的活用も行われており、全体として指定管理事業は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	スポーツ振興課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住六丁目36番5号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養 100名 短期入所生活介護（ショートステイ）10名</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】特養：95.0%、ショートステイ：100.0%
- 2 利用者の体調変化等の早期発見・早期対応に努め健康管理をしっかりと行い、利用率95%を維持していくことで、安定した事業運営を行っていく。
- 3 町会・保育園・ふれあい館等との交流や地域ボランティアの受入れやオレンジカフェへの協力など、地域に密着した施設運営を行っていく。
- 4 職員面談を通して精神的な負担を軽減し、安心して働ける環境づくりを行うとともに、研修等により介護職としてスキルの向上を図るなど、職員体制の確保と定着に努めていく。
- 5 利用者・家族の希望に沿いながら、ケア等を行っていくとともに、生活の場である施設において、看取りができる体制を整えていく。

平成29年度の事業実績

- 1 特養：利用率94.7% 平均介護度4.1、ショートステイ：利用率95.4% 平均介護度3.2
- 2 利用者の体調管理等のため、経過観察や対応の評価に多職種が積極的に関わり、相互の連携・協力により状態の把握に努めたことで、目標達成に繋がった。
- 3 町会・保育園・ふれあい館との定期的な交流や地域の方々を対象としたお祭りの開催、小・中・高等学校からの職業体験実習生等の受入れなど、地域との関わりを深めることができた。
- 4 既存職員の離職防止や新採用職員の定着のため、日頃から相談しやすい環境等を整備するとともに、SNSの活用や紹介会社を通しての採用など、様々な方法を取入れ職員の確保に努めた。
- 5 利用者の重度化に伴い、看取り介護の希望が多くなり、家族の意思確認をしっかりと行ないながら、最後まで看取る施設として、協力医とともに看取りケアを実施した。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、94.7%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が79%であり、さらに満足度を高めていく必要がある。
- ・自主的な取組については、小・中・高等学校の職業体験実習生等の受入れを行うとともに、ボランティアを中心とした施設内喫茶を月1回実施したほか、縫い物や傾聴、軽作業の補佐などボランティアの受入れも積極的に行うなど開かれた施設として地域と交流を深めていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率は良好であるが、さらなる利用率の向上や利用者の満足度向上に繋がるサービス提供が必要である。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	438,487,653	443,522,476	454,946,000	455,725,601
	その他収入	25,720	2,068,200	3,445,000	1,604,700
	計	438,513,373	445,590,676	458,391,000	457,330,301
支出	運営費	67,729,490	66,537,638	65,973,000	67,725,389
	管理費	56,044,887	59,692,876	58,620,000	61,378,826
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	318,741,136	349,259,126	318,294,000	334,215,924
	修繕費	3,910,968	3,792,040	4,220,000	3,880,254
	その他支出	3,251,341	2,116,555	2,896,000	1,724,139
	計	449,677,822	481,398,235	450,003,000	468,924,532
収支差額		-11,164,449	-35,807,559	8,388,000	-11,594,231

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・5年連続の赤字決算となっており、さらなる利用率の向上と効率的な運営が必要である。なお、人件費については、昨年度、賞与引当金等の計上時期が適格化されたため減少している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	グリーンハイム荒川拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減・経費増となっているが、前年対比においては、経費縮減は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率の向上と効率的な運営が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	特別養護老人ホームサンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住三丁目14番7号
指定管理者	名称	社会福祉法人 カメリア会
	所在地	江東区亀戸三丁目36番13号
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成29年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養 56名 短期入所生活介護（ショートステイ）12名</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】特養：100.0%、ショートステイ：100.0%
- 2 今年度より新たな指定管理者として、これまでの利用者の生活を踏まえた上で、施設内の生活が画一化し集団ケアとならないよう、一人ひとりに適した介護計画を立案し実行していく。
- 3 コンプライアンスを徹底し、施設運営における関係諸法令を遵守していく。
- 4 職員が常に高い目標に向かいチャレンジできる環境を整備するとともに、職層別研修制度を活用し、その職責を果たすことができる人材を育成していく。
- 5 食欲の減退や食に対する関心がなくなりやすい利用者の残存感覚を刺激し、食への興味を喚起していく。

平成29年度の事業実績

- 1 特養：利用率91.0% 平均介護度4.1、ショートステイ：利用率100.6% 平均介護度2.9
- 2 ケアマネジメントを実施する際は、家族や多職種からもモニタリング等を行うことで、利用者の表面化しない潜在ニーズを把握し、サービスの提供に努めた。
- 3 法令遵守については、研修等を通して各職員へ周知・徹底を図った。
- 4 職員へは定期的な目標管理を実施し、所属長の面談等により個々の職員に合った目標設定ができた。また、法人・グループ内の階層・職種別の研修への参加により、モチベーションを高めることができた。
- 5 歯科往診により口腔内の支援や嚥下リスクの有無の把握を行うとともに、誕生日の特別食の提供や外食イベントなどを通してサービスの充実を図った。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、91.0%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が84%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、近隣保育園等との交流や介護職インターンシップを受入れていること、サービスの質の向上としてISOの認証取得に取り組んでいること、また、医療法人を含めた法人グループ間で積極的に情報共有や共同での課題解決が行われていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率等は良好であるが、引き続き、さらなる利用率の向上や利用者の満足度向上に繋がるサービス提供が必要である。

施設決算状況

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	(前法人の決算)	(前法人の決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	介護保険事業収益	297,623,752	288,162,597	289,687,000	282,895,331
	その他収入	260,685	50,000	600,000	0
	計	297,884,437	288,212,597	290,287,000	282,895,331
支出	運営費	53,730,624	119,155,891	63,886,000	67,015,324
	管理費	36,115,577	40,047,790	21,658,000	25,847,742
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	185,675,402	204,558,248	165,234,000	153,307,270
	修繕費	934,565	1,493,780	660,000	1,410,685
	その他支出	4,545,548	4,951,609	1,500,000	11,156,117
	計	281,001,716	370,207,318	252,938,000	258,737,138
収支差額	16,882,721	-81,994,721	37,349,000	24,158,193	

(施設決算状況の説明)

平成29年度からの指定管理者が変更となったため、平成27年度及び平成28年度の実績は、前指定管理者の決算額である。

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	サンハイム荒川拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	サービス活動収支において黒字となっており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正に行われていた。

・また、前法人より滞りなく適切に運営を引継ぎ、新たな指定管理者として円滑に事業を開始することができている。今後は、さらなる利用率の向上等安定した運営が望まれる。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川
	所在地	荒川区荒川五丁目47番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養50名 短期入所生活介護（ショートステイ）6名</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】特養：97.0%、ショートステイ：85.0%
- 2 稼働率の安定及び向上のため、入所までのプロセスの見直しを行い、空床期間の短縮に努めていく。
- 3 感染症の発生を防ぐため、予防対策を徹底していく。特に職員から利用者への感染を防ぐとともに、面会家族へも流行前からの注意喚起等を強化していく。
- 4 経年劣化により、施設設備の不具合が増えているため、サービス提供に支障が出ないよう、荒川区と連携を図りながら計画的に対応していく。
- 5 地域との共存を大切にし、地域包括支援センター・みまもりステーションと協力して、地域福祉の拠点としての役割を果たすとともに、専門性を地域へ還元し地域力強化に努めていく。

平成29年度の事業実績

- 1 特養：利用率98.0% 平均介護度4.0、ショートステイ：利用率89.0% 平均介護度2.7
- 2 事前面談等により新規入所をスムーズに行ったことで空床期間の短縮に繋がり、年間を通して安定した稼働率が維持でき、目標利用率を達成することができた。
- 3 流行時期前の職員研修等を実施し、職員からの感染防止対策を図った一方で、面会家族から利用者へインフルエンザの感染があったが、適切な対応により重症者は出ず短期間で終息することができた。
- 4 区と連携を図り、利用者等への影響も最小限に抑えながら、「ナースコール設備」「電話設備」「非常用放送設備」の改修工事を実施した。
- 5 近隣町会との定期的な会合を継続しながら、29年度は、地域住民と合同で福祉避難所の訓練を実施した。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、98.0%と極めて良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が81%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、法人系列の保育園児との交流や近隣町会との会合など、いずれも定期的に継続して実施されていること、また、地域との繋がりを大切に連帯感を深めながら、合同防災訓練の実施や勤労留学生の受入れ等を行っていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率は極めて良好であるが、引き続き、さらなる利用者の満足度向上に繋がるサービス提供が必要である。

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	247,524,529	239,777,409	249,967,000	246,388,471
	その他収入	0	0	93,000	0
	計	247,524,529	239,777,409	250,060,000	246,388,471
支出	運営費	47,454,331	46,678,565	47,333,000	47,720,550
	管理費	22,137,719	22,623,887	23,070,000	23,187,108
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	159,228,962	165,428,098	173,630,000	173,470,705
	修繕費	1,613,390	1,125,425	6,000,000	6,232,313
	その他支出	671,820	629,677	27,000	649,090
	計	231,106,222	236,485,652	250,060,000	251,259,766
収支差額		16,418,307	3,291,757	0	-4,871,295

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・緊急修繕（給水ユニット交換修繕・非常用照明器具交換修繕・空調設備冷媒漏れ修繕）対応により、昨年度に比べ修繕費の支出が増えた。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	花の木ハイム荒川拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっているが、経費はほぼ等しいため効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は優れていて、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住六丁目36番5号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 入浴・通所回数、滞在時間、機能訓練など利用者のニーズに応じたサービス提供に努め、利用率85%を目標に安定した事業運営を行っていく。
- 3 一般企業の新任研修や社会福祉士、介護福祉士等の実習を受入れ、介護への理解や介護職育成に資するよう実習や体験等を実施し、福祉施設としての役割を果たしていく。
- 4 みなこい祭り、お元気ランチ、介護者教室等、地域交流を図りながら、利用者が社会的な繋がりを維持できるよう地域に密着した施設運営を行っていく。
- 5 業務改善プロジェクトを継続し、全職員による意見交換を図ることで、言葉使いやケアの質の向上など、より良いサービスの提供に努めていく。

平成29年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率64.6% 平均介護度2.2
- 2 利用率の達成には至らなかったが、9月から専任の機能訓練指導員を配置できたことで、リハビリのPRや入浴回数を確保できるようになりサービスの充実に繋がり、登録数・利用率が向上してきた。
- 3 高齢者に親しみを持って接することができるように、福祉施設の役割として介護への理解や仕事の魅力を広く伝えていくため、様々な実習生の受入れを行った。
- 4 町会・保育園・ふれあい館との定期的な交流や地域の方々を対象としたお祭りの開催、小・中・高等学校からの職業体験実習生等の受入れなど、地域との関わりを深めることができた。
- 5 職員の経験に沿った法人内研修や月1回のミーティングの実施で各職種が協働して、ヒヤリハット等の問題や再発防止に取組みスキルの向上に努めた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、64.6%であり、十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が94%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、小・中・高等学校の職業体験実習生等の受入れを行うとともに、ボランティアを中心とした施設内喫茶を月1回実施したほか、縫い物や傾聴、軽作業の補佐などボランティアの受入れも積極的に行うなど開かれた施設として地域と交流を深めていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率について64.6%であったことから、利用者のニーズに応えられるプログラムや環境を整えるなど、利用率を向上させるための改善策の実施が必要である。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	88,213,991	72,253,067	98,136,000	77,689,552
	その他収入	29,416	1,902,733	1,210,000	1,816,413
	計	88,243,407	74,155,800	99,346,000	79,505,965
支出	運営費	14,848,575	14,599,673	15,049,000	13,110,734
	管理費	8,668,435	8,492,361	9,307,000	9,164,484
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	64,886,345	70,860,076	71,541,000	72,031,987
	修繕費	670,430	757,902	1,100,000	209,380
	その他支出	850,440	610,326	120,000	474,582
	計	89,924,225	95,320,338	97,117,000	94,991,167
収支差額		-1,680,818	-21,164,538	2,229,000	-15,485,202

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・3年連続の赤字決算となっている。昨年度に比べ、管理費・人件費の増に加え、利用者の施設入所・入院・ショートステイ利用の増加により一般デイの利用が減り収入減となっている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっているが、前年対比において、経費縮減は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率の向上と効率的な運営が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住三丁目14番7号
指定管理者	名称	社会福祉法人 カメリア会
	所在地	江東区亀戸三丁目36番13号
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成29年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 *介護予防含む</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 今年度より新たな指定管理者として、これまでの事業内容を継続し、利用者が目的を持って通えるよう入浴や機能訓練等のサービスの充実を図っていく。
- 3 コンプライアンスを徹底し、施設運営における関係諸法令を遵守していく。
- 4 職員が常に高い目標に向かいチャレンジできる環境を整備するとともに、職層別研修制度を活用し、その職責を果たすことができる人材を育成していく。
- 5 地域のケアマネジャー、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所間で連携を図り、安定した事業運営を行っていく。

平成29年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率78.5% 平均介護度2.2
- 2 入浴回数制限をなくし希望通りの入浴やマシンを使用した機能訓練の実施、音楽に合わせて身体を動かすプログラムの実施など、男性利用者も参加しやすいサービスの提供を行った。
- 3 法令遵守については、研修等を通して各職員へ周知・徹底を図った。
- 4 職員へは定期的な目標管理を実施し、所属長の面談等により個々の職員に合った目標設定ができた。また、法人・グループ内の階層・職種別の研修への参加により、モチベーションを高めることができた。
- 5 居宅介護支援事業所と情報共有を図れたことで、地域包括支援センターからの困難事例の利用者を多く受入れることができた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、78.5%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度は72%であり、さらに満足度を高めていく必要がある。
- ・自主的な取組については、近隣保育園等との交流や介護職インターンシップを受入れていること、サービスの質の向上としてISOの認証取得に取り組んでいること、また、医療法人を含めた法人グループ間で積極的に情報共有や共同での課題解決が行われていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者からの多くの要望に応えていくための工夫を図るなど、満足度を向上させるための改善策が必要である。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(前法人の決算)	(前法人の決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	93,166,199	81,611,413	84,424,000	79,022,765
	その他収入	0	0	480,000	0
	計	93,166,199	81,611,413	84,904,000	79,022,765
支出	運営費	13,959,159	10,092,057	14,349,000	15,944,131
	管理費	11,809,557	12,781,169	5,320,000	8,562,662
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	61,524,228	57,264,663	64,215,000	60,160,970
	修繕費	223,837	260,758	240,000	219,035
	その他支出	1,687,787	1,773,486	780,000	5,780,802
	計	89,204,568	82,172,133	84,904,000	90,667,600
収支差額		3,961,631	-560,720	0	-11,644,835

(施設決算状況の説明)

平成29年度からの指定管理者が変更となったため、平成27年度及び平成28年度の実績は、前指定管理者の決算額である。

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。利用率の低下により収益が減少したため、赤字決算となっている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減・経費増となっているが、経費の効果的活用は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていたが、サービス活動収支の差額が赤字であるため、利用率の向上と効率的な運営が必要である。
- ・また、前法人より滞りなく適切に運営を引継ぎ、新たな指定管理者として円滑に事業を開始することができている。今後は、さらなる利用率の向上等安定した運営が望まれる。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川五丁目47番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋五丁目9番10号
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：75.0%
- 2 多様化するニーズや利用者を取り巻く環境の変化に合わせ、在宅で出来る限り自立した生活が送れるよう、関係諸機関と連携を図りながらより効果的な介護サービス計画を立案していく。
- 3 地域包括支援センターと連携を図り、介護予防・日常生活支援総合事業に積極的に取り組むとともに、利用者の身体面及び精神面の維持に努めていく。
- 4 経年劣化により、施設設備の不具合が増えているため、サービス提供に支障が出ないよう、荒川区と連携を図りながら、計画的に対応していく。
- 5 地域との共存を大切にし、地域包括支援センター・みまもりステーションと協力して、地域福祉の拠点としての役割を果たすとともに、専門性を地域へ還元し、地域力強化に努めていく。

平成29年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率65.5% 平均介護度2.4
- 2 多職種間でのアセスメントや通所介護計画の内容を基に、職員間で支援方法を確認し共通認識を持つことで、個々の利用者にあったサービス提供を行った。
- 3 介護予防運動指導士や看護師等の専門職と協力し、介護予防に取り組むとともに、担当ケアマネジャーとも連携し、その後のフォローも行いながら在宅生活の維持に努めた。
- 4 区と連携を図り利用者等への影響も最小限に抑えながら、「ナースコール設備」「電話設備」「非常用放送設備」の改修工事を実施した。
- 5 近隣町会との定期的な会合を継続しながら、29年度は、地域住民と合同で福祉避難所の訓練を実施した。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、65.5%であり、十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が88%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、法人系列の保育園児との交流や近隣町会との会合など、いずれも定期的に継続して実施されていること、また、地域との繋がりを大切に連帯感を深めながら、合同防災訓練の実施や勤労留学生の受入れ等を行っていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率について65.5%であったことから、施設のPR活動や新規利用者の獲得など、利用率を向上させるための改善策が必要である。

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	75,340,541	70,475,141	71,136,000	70,482,078
	その他収入	0	0	15,000	0
	計	75,340,541	70,475,141	71,151,000	70,482,078
支出	運営費	13,345,576	11,490,715	13,130,000	13,327,181
	管理費	4,247,294	3,681,003	5,280,000	5,401,764
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	50,711,077	52,291,530	48,871,000	49,304,374
	修繕費	0	14,223	20,000	14,040
	その他支出	25,222	22,819	0	24,701
	計	68,329,169	67,500,290	67,301,000	68,072,060
収支差額		7,011,372	2,974,851	3,850,000	2,410,018

(施設決算状況の説明)

- ・ 介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっているが、経費はほぼ等しいため効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は優れていて、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用率の改善が必要であるが、利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西日暮里五丁目36番1号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成3年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成3年2月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 年間利用率85%を目標とし、職員が目標値を意識しながら業務にあたり、新規利用者獲得への取組に注力し、安定した事業運営を行っていく。
- 3 昨年度に引き続き、「不適切な対応をなくすための自己チェック」を活用し、接遇マナーの向上を図り、より良いサービスの提供に努めていく。
- 4 利用者が楽しみながら自立した日常生活動作を行えるよう、個々に目標が設定できる活動プログラム等の見直しを行うとともに、身体機能の維持や向上を図れるよう支援していく。
- 5 新規利用者獲得等に繋がるようホームページ等を活用し、家族や居宅介護支援事業所へのPR等の強化を行っていく。

平成29年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率75.3% 平均介護度2.6
- 2 新規利用者獲得への取組に成果が上げられなかったことに加え、2月にはインフルエンザ感染による欠席が続いたこともあり、利用率の達成には至らなかった。
- 3 「不適切な対応をなくすための自己チェック」を年2回実施し、実際の苦情を基に研修を実施した。
- 4 新規プログラム（ゲーム）を実施するとともに、機能訓練で目標を達成した方や昼食準備を手伝ってくれた方などにそれぞれ賞状を贈り、活動意欲の向上に繋がるサービス提供を行った。
- 5 ホームページは随時更新し、毎月の事業者向けのお便りの内容を充実させるとともに、利用者にも行事の写真等は直ぐに配布を行い活動の様子をタイムリーに伝えるなど、施設のPR等に努めた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、75.3%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が89%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、お元気ランチ卒業生を対象に「いきいきランチ」を実施していること、また、近隣の保育園の園児とは、年間計画を立て毎月交流会を行うとともに、小学生・中学生の勤労留学や大学生の福祉体験実習を受入れていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率は良好であるが、引き続き、さらなる利用率の向上や収支の改善に向けた取組が必要である。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	107,331,026	101,694,713	114,739,000	102,712,525
	その他収入	682,440	5,684,511	1,062,000	4,435,006
	計	108,013,466	107,379,224	115,801,000	107,147,531
支出	運営費	14,995,026	14,284,537	14,489,000	15,720,147
	管理費	11,883,024	12,692,340	12,158,000	12,011,018
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	78,170,579	87,697,458	84,050,000	79,897,783
	修繕費	962,632	966,537	200,000	2,863,404
	その他支出	1,048,477	1,138,112	978,000	1,547,855
	計	107,059,738	116,778,984	111,875,000	112,040,207
収支差額		953,728	-9,399,760	3,926,000	-4,892,676

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・2年連続の赤字決算となっている。平成29年度は、運営費（機能訓練機器の購入）・修繕費（屋上キュービクル等修繕）の増加が赤字決算の要因となっている。なお、人件費については、昨年度、賞与引当金等の計上時期が適格化されたため減少している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減・経費増となっているが、前年対比において、経費縮減は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率の向上と効率的な運営が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	町屋在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区町屋七丁目2番15号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成5年3月23日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成5年3月23日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 年間利用率85%を目標とし、個別機能訓練・中重度者ケア体制加算等を算定するなど、安定した事業運営を行っていく。
- 3 利用者が安心・安全に生活できる場としての施設を目指し、利用者の個々に合わせたニーズに応えられるサービスを提供していく。
- 4 利用者の「自立支援」を目指し、職員一人ひとりが利用者のニーズに合った支援を行っていく。
- 5 建物・設備において経年劣化が見られるため、荒川区と綿密な連携を図り、利用者の安全を優先に考え修繕等を計画的に実施していく。

平成29年度の事業実績

- 1 一般デイ：67.0% 平均介護度2.3
- 2 加算算定に必要な体制を整えるなど、安定した事業運営を目指したが、介護者の高齢化、利用者の重度化により短期入所の利用や入院が増えたこともあり、目標利用率の達成には至らなかった。
- 3 利用者が安全で安心して利用できるよう、滞在時間の配慮や調整に努め、機能訓練や入浴サービスなど、利用者のニーズに合わせたサービスの提供を行った。
- 4 「自立支援」の一環として、趣味・生きがい活動のサービス提供に力を入れるとともに、年間を通して、利用者自身が考えプログラムを選択することで生活意欲に繋がる支援を行った。
- 5 大きな修繕等はなかったが、施設の環境整備については、関係機関と協力しながら改善を図ってきた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、67.0%であり、十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が87%と、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、おげんきランチ卒業生を対象に絵手紙教室等を実施していること、また、母子生活支援施設や近隣幼稚園との交流会や勤労留学生、教員免許の特例による社会福祉施設等体験学生を積極的に受入れていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率について67.0%であったことから、施設のPR活動や新規利用者の獲得など、利用率を向上させるための改善策の実施が必要である。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	108,924,541	98,328,097	122,360,000	96,535,377
	その他収入	0	8,278,710	1,265,000	7,813,041
	計	108,924,541	106,606,807	123,625,000	104,348,418
支出	運営費	16,630,571	14,954,211	18,620,000	15,063,694
	管理費	11,056,183	11,261,935	12,527,000	13,976,356
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	77,415,313	79,448,395	76,219,000	71,628,771
	修繕費	1,307,105	1,122,240	800,000	1,799,183
	その他支出	944,685	1,370,619	958,000	1,296,561
	計	107,353,857	108,157,400	109,124,000	103,764,565
収支差額		1,570,684	-1,550,593	14,501,000	583,853

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・人件費については、昨年度、賞与引当金等の計上時期が適格化されたため減少している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	町屋在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年対比において、経費縮減により黒字に転換している。	良好
労務	労働環境が適正である	労働契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用率の改善が必要であるが、利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住四丁目9番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成12年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）30名 *介護予防含む</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 年間利用率85%を目指すため、安定した経営を重点目標とし、居宅介護支援事業所や地域の方へのPR等の強化を図るとともに、新たな加算を算定できる体制を整え、収入増を目指していく。
- 3 利用者の個々のニーズに合ったサービスの提供に努め、職員間の連携を密にしなが、利用者一人ひとりが安心して楽しく利用できる施設を目指していく。
- 4 今期の指定管理計画内容の検証を行い、見直し・改善を図るよう努めていく。
- 5 開設から18年目を迎え、施設内で経年劣化が見られるため、荒川区と連携を密に図りながら、計画的に修繕等を行っていく。

平成29年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率73.4% 平均介護度2.1
- 2 他の居宅介護支援事業所を訪問し施設等のPRに努めたが、新規利用者（11名）より施設退所者（12名）が上回り、思うような新規利用者の獲得には至らなかった。
- 3 個々の通所介護計画に基づき、ケアマネジメントのPDCAサイクルに沿ったサービス提供を行うとともに、特にニーズの高い入浴介護サービスについては、利用者個々の心身状況を考慮しながら、“安全・安楽”に入浴できるよう可能な限り対応した。
- 4 施設内の環境整備を行ったほか、地元町会と交流を深めていく中で、園芸療法への取組を開始した。
- 5 法人の予算において、「玄関前車止め交換」「ボイラー真空ヒータ修理」「浴室ドア工事」等を実施した。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、73.4%と良好であるが、利用者数の低下に伴い収益も減少している。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が81%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、お元気ランチ卒業生の自主グループに、毎週1回施設を開放し、体操や昼食の提供を行っていること、また、近隣の保育園児との交流や勤労留学、福祉専門学校、教員免許取得介護等体験の大学生を積極的に受入れていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率は良好であるが、新規利用者の獲得や定員数の拡大の検討など、さらなる利用率を向上させるための改善策の実施が早急に必要である。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	63,439,843	58,478,472	68,298,000	59,682,988
	その他収入	0	2,231,826	640,000	2,202,296
	計	63,439,843	60,710,298	68,938,000	61,885,284
支出	運営費	12,834,403	12,014,488	12,520,000	12,347,797
	管理費	7,234,111	7,562,928	7,418,000	7,431,335
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	49,887,373	52,735,047	46,105,000	51,599,885
	修繕費	145,800	887,076	530,000	1,334,577
	その他支出	1,066,598	1,143,831	409,000	1,048,741
	計	71,168,285	74,343,370	66,982,000	73,762,335
収支差額		-7,728,442	-13,633,072	1,956,000	-11,877,051

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・6年連続の赤字決算となっている。利用登録者が定員数に達していない営業日があるなど、利用者数の低下による収益の減少が赤字決算の要因となっている。なお、人件費については、昨年度、賞与引当金等の計上時期が適格化されたため減少している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減・経費増となっているが、前年対比において、経費縮減の努力は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率の改善が必要であるとともに、定員数の拡大について早急に対応が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区東日暮里三丁目8番16号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子二丁目19番21号
施設開設年月日		平成6年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年11月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護（一般デイ）40名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名 * 各々介護予防含む</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：75.0%、認知デイ：41.7%
- 2 関係法令を遵守しながら、地域に開かれた福祉サービスの拠点としての役割を果たすとともに、介護予防事業にも積極的に取り組み効果を上げていく。
- 3 個々のニーズに応じた日常生活の改善や健康保持の支援を行うとともに、心身機能の維持向上を図りながら利用者の自立援助に努めたサービス提供を行っていく。
- 4 利用者や家族との信頼関係を基本に、相談や要望には迅速かつ適切に対応していくとともに、利用者目線に立ったサービス提供に努めていく。
- 5 全職員が連携し事故の発生や防止を心掛け、サービス提供・施設管理等、安全管理の徹底に努めていく。

平成29年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率59.1% 平均介護度2.2、認知デイ：利用率31.8% 平均介護度3.7
- 2 介護予防事業の「お元気ランチ」開催や地域貢献の一環として「ふれあい粋・活サロン」を実施した。また、11月からは職員によるプロジェクトチームを立上げ、利用者の生活プログラムのあり方や利用率向上のための利用者増加策などの具体的な実施計画の検討を行った。
- 3 体操やゲーム、食事などの際には、残存機能を活かし自立に配慮した援助に努めるとともに、心身機能の維持向上が図れるよう個々のニーズに応じたサービス提供を行った。
- 4 連絡帳や電話などによる家族とのコミュニケーションやケアマネージャーとの情報交換等に努め、利用者一人ひとりに適したサービス提供を行った。
- 5 施設内研修及び外部研修などの各種研修へ職員を派遣し、職員のスキルアップと資質の向上、意識の高揚を図った。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、一般デイが59.1%、認知デイが31.8%であり、いずれも十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が91%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、地域における福祉サービスの拠点として、地域ふれあい祭り等を実施するとともに、様々なボランティアを積極的に受入れていること、また、近隣の学校等との交流や勤労留学生、教員免許法の特例による社会福祉施設等体験学生の受入れを行っていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・一般デイ・認知デイとも、施設のPR活動や新規利用者の獲得、サービス提供時間等の見直しなど、利用率を向上させるための改善策の実施が早急に必要である。

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	91,978,308	89,177,024	114,300,000	90,483,215
	その他収入	1,869,283	700,000	1,173,000	0
	計	93,847,591	89,877,024	115,473,000	90,483,215
支出	運営費	8,059,863	7,800,381	12,879,000	10,908,857
	管理費	17,654,524	15,054,092	16,947,000	14,776,404
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	81,627,052	83,100,893	84,773,000	84,249,487
	修繕費	892,888	1,433,262	200,000	2,714,355
	その他支出	0	0	674,000	0
	計	108,234,327	107,388,628	115,473,000	112,649,103
収支差額		-14,386,736	-17,511,604	0	-22,165,888

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・6年連続の赤字決算となっている。利用率の低下による収益の減少に伴い、年々、赤字幅が拡大している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっているが、経費縮減の努力は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、経費の縮減、サービス提供時間等の見直しなど、利用率の向上と効率的な運営が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成6年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年12月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 * 各々介護予防含む</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%、認知デイ：50.0%
- 2 安定した運営を行うため新規利用者の獲得に努め、利用率の向上を目指していく。
- 3 要介護状態にあっても在宅生活を豊かに過ごすため、多様なプログラムや脳機能訓練・個別機能訓練を実施していく。
- 4 認知症の方々へのサービスを充実させ、状態に合わせたプログラムを実施する。また、在宅生活を支える家族との連携を強化し介護負担軽減を図るとともに、在宅生活が継続できるように支援を行っていく。
- 5 併設施設である老人福祉センターと連携を図り、介護予防事業に取組み自立支援に向けた働きかけを行っていく。

平成29年度の事業実績

- 1 一般デイ利用率：80.6% 平均介護度2.2、認知デイ利用率：49.2% 平均介護度3.4
- 2 新規利用者（計51件：一般デイ46件・認知デイ5件）の受入れを迅速に行ったことで、一般デイ・認知デイともに前年よりも利用率が向上し、安定した運営に繋がった。
- 3 脳機能訓練のほか、カラオケ機器のコンテンツを利用し利用者参加型のプログラムを増やし継続実施したことで、利用者に積極性が見られるようになり、他のプログラムにも自主的に参加するなど満足度の向上にも繋がった。
- 4 個別に行える手指活動等を実施し、環境や雰囲気大切にしながら、認知症利用者が安心できる居場所を提供するとともに、家族には運営推進会議や家族介護者教室などへの参加を促し、課題等の共有に努めた。
- 5 介護予防事業の「お元気ランチ」、介護予防自主事業の健康茶話会「ころから」の継続実施や老人福祉センターで実施している介護予防事業の紹介などを行った。

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規程を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者を配置している		○
	看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	サービス提供に必要な設備を備えている		○
			結果
			適合
その他の評価項目			
項目	評価	極めて良好である	良好である
利用率（一般デイ）		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
取組が行われていない、または取組が十分でない			
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> 入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 利用率については、一般デイは80.6%、認知デイ49.2%と良好である。 利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が88%と良好である。 自主的な取組については、お元気ランチ卒業生等を対象に健康茶話会「ころから」の継続実施、勤労留学生や企業研修、「いきいきボランティア制度」を活用した高齢者のボランティアの受入れを積極的に実施していること、また、近隣の保育園児や地域の方々とセンターまつり等を通じて開かれた施設として交流を深めていることが評価できる。 			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
<ul style="list-style-type: none"> 利用率等は良好であるが、引き続き、さらなる利用率の向上や利用者の満足度向上に繋がるサービス提供が必要である。 			

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	107,056,799	98,122,101	107,361,000	109,005,343
	その他収入	2,133,137	2,211,923	2,207,000	2,206,447
	計	109,189,936	100,334,024	109,568,000	111,211,790
支出	運営費	15,300,189	14,107,428	16,665,000	14,370,191
	管理費	15,369,431	15,061,525	21,362,000	15,471,934
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	69,498,713	67,450,979	70,666,000	71,019,586
	修繕費	363,211	2,001,341	875,000	2,561,983
	その他支出	0	0	0	0
	計	100,531,544	98,621,273	109,568,000	103,423,694
収支差額		8,658,392	1,712,751	0	7,788,096

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・利用率の向上に伴い、収支状況も改善が図られている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入増・経費減となっており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西尾久六丁目17番3号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成7年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 * 各々介護予防含む</p>

平成29年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：84.0%、認知デイ：20.0%
- 2 安定した事業運営を行うために新規利用者の確保に努め、利用率の向上を目指していく。
- 3 定期的なアセスメントとそれに基づく通所介護計画の立案等により、残存機能の維持・向上の働きかけを強化していく。
- 4 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者のニーズに対応したサービス提供を柔軟に行っていく。
- 5 事故の発生防止を重要課題とし、ヒヤリハット事例を職員間で共有するなど事故防止に努めていくとともに、災害時に備え町会との協力による有事を想定した避難訓練を実施していく。

平成29年度の事業実績

- 1 一般デイ利用率：82.9% 平均介護度2.0、認知デイ利用率：16.2% 平均介護度2.9
- 2 2月に流行したインフルエンザの影響を受けながらも、要支援利用者の増加により一般デイは80%以上と安定した利用率を維持できた。
- 3 介護職や他職種の意見も取入れながら、管理者や生活相談員を中心に通所介護計画書作成手順の再確認を行うとともに、日々の個別記録の取り方を改善したことで、利用者の通所目的が明確となり残存機能活用の適切な介助に繋がった。
- 4 「お元気ランチ」は、地域からの新規紹介が無く年度途中で休止状態となったが、要支援利用者は増加傾向にあり多くのケースを受入れるとともに、関連機関との密なる連携により困難なケースにも対応してきた。
- 5 インフルエンザの感染や車両事故等のトラブルが続いたことを踏まえ、職員間で再発防止に関する取組の強化を図った。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、一般デイは82.9%と良好であり、要支援利用者の増加傾向に合わせたサービス提供に取組んだ結果、80%以上維持できている。認知デイについては、16.2%であり十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が81%と良好である。
- ・自主的な取組については、お元気ランチ卒業生等を対象に健康茶話会「ころから」の継続実施、勤労留学生や企業研修、「いきいきボランティア制度」を活用した高齢者のボランティアの受入れを積極的に実施していること、また、近隣の保育園児や地域の方々とセンターまつり等を通じて開かれた施設として交流を深めていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・認知デイについては、利用者が減少し続けているため、今後の運営方針等について早急に検討を進める必要がある。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	92,590,283	85,504,256	93,990,000	86,599,004
	その他収入	2,014,214	2,089,784	2,088,000	2,087,913
	計	94,604,497	87,594,040	96,078,000	88,686,917
支出	運営費	16,167,360	15,127,109	16,218,000	14,706,001
	管理費	14,604,807	14,962,483	17,059,000	15,108,299
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	61,277,251	60,804,923	61,831,000	60,693,448
	修繕費	1,116,529	3,805,851	970,000	1,145,024
	その他支出	0	0	0	0
	計	93,165,947	94,700,366	96,078,000	91,652,772
収支差額		1,438,550	-7,106,326	0	-2,965,855

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・2年連続の赤字決算となっている。認知デイの利用率の低下が赤字決算の大きな要因である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっているが、経費縮減が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

・介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率の向上と効率的な運営が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川老人福祉センター
	所在地	荒川区荒川 一丁目34番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和45年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		(1) 事業に関する業務 ・生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務 ・機能回復訓練その他健康の保持増進に関する業務 ・教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ・その他区が必要と認める事業に関する業務 (2) 施設の維持管理に関する業務 ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理に関する業務 ・その他の維持管理に関する業務 (3) 区が実施する早期の介護予防、認知症予防事業に関する業務

平成29年度の事業計画

- 1 【介護予防事業】いつまでも健康で生きがいを持って生活できるように、利用者が主体的に介護予防や健康づくりに取り組むきっかけとなる場を創出し、介護予防の意識づけや情報提供及び普及啓発を行っていく。
- 2 【健康相談事業及び生活相談事業】日頃から健康相談員や看護師が利用者の身体状況を把握し、地域包括支援センター等関連機関と連携を図りながら、認知症予防プログラムや健康アップステーションの活用を推進していくとともに、健康や生活に役立つ充実した最新の情報を提供していく。
- 3 【文化教養教室事業・定例事業】生きがいを持って豊かな社会生活を送るための支援を目的に、各教室等を開催し、趣味・仲間づくりや自主的なサークル活動を奨励していく。
- 4 【高年者クラブ連合会等に対する支援】地域に根差した施設づくりを目指すため、世代間交流を推進し、出合いやふれあいを通じ相互理解を深めていくとともに、区内の高年者クラブと連携を図り事業の促進に努めていく。

平成29年度の事業実績

- 1 介護予防プログラムを再編し10個のプログラムを実施した。自宅でできる簡単な体操等を実施することで健康づくりへの意識づけを高めることができ、参加者の体力測定値の向上が見られた。
- 2 地域包括支援センター等関係機関と情報共有を図るなど連携しながら、健康管理等の支援を行うとともに、利用者が相談しやすい環境づくりの充実に努めた。
- 3 新規公開講座の「薬の正しい使い方」と「七宝焼き講座」は好評であった。また、介護予防事業と関連付けた講座を実施するなど、各種行事・講座・事業の充実に努めた。
- 4 高年者クラブ連合会の月例会長会・女性部全体会への職員参加や会場設営、高年者芸能大会の共催等を行うなど、連携・協力して事業を実施した。

法令基準等への適合状況				
確認項目			適合判断	
運営基準を満たしているか				
運営規定を定めており、適切に守られている			○	
事業について				
生活相談、健康相談を行っている			○	
教養講座等を行っている			○	
老人クラブに対する援助等を行っている			○	
人員配置基準を満たしているか				
施設の長を配置している			○	
相談・指導を行う職員を配置している			○	
設備基準を満たしているか				
サービス提供に必要な設備を備えている			○	
			結果	
			適合	
その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
来館者数		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日の平均利用者は、155人と多くの来館者がある（年間利用者総数45,845人、新規利用登録者562人）。 ・ 利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が90%に達するなど、良好な評価を得ている。 ・ 自主的な取組については、夏季と冬季に「街なか避暑地」「街なかほっとサロン」を実施し、施設の地域開放を行っていること、また、サマーボランティアスクール等小中学生の受入れや、ボランティアグループによる喫茶コーナーの実施など、地域に根差し開かれた施設として、地域交流を深めていることが評価できる。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの結果は良好であるが、引き続き、さらなる利用者の満足度向上に繋がるサービス提供が必要である。 				

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	55,498,444	67,755,269	75,424,653	70,109,180
	その他収入	0	0	0	0
	計	55,498,444	67,755,269	75,424,653	70,109,180
支出	運営費	6,172,388	9,386,816	14,732,929	14,021,124
	管理費	10,122,163	11,987,126	12,357,299	11,321,260
	本部経費	123,447	187,736	0	160,604
	人件費	38,857,394	44,189,427	47,251,000	44,600,408
	修繕費	346,499	2,191,900	1,083,425	166,388
	その他支出	0	0	0	0
	計	55,498,444	67,755,269	75,424,653	70,109,180
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・本部経費は基本協定により、運営費の決算額の2%相当額以下となっている。
- ・決算では、支出に応じて指定管理料を精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	荒川老人福祉センター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年対比において、経費が増加しているが、これは平成28年度からの新規事業によるものであり、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・老人福祉センターとして担うべき、生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務などを確実に履行している。
- ・法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川授産場
	所在地	荒川区東尾久四丁目 3 2 番 7 号
指定管理者	名称	公益社団法人 荒川区シルバー人材センター
	所在地	荒川区東尾久四丁 3 2 番 7 号
施設開設年月日		昭和 55 年 3 月東京都から移管
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 18 年 4 月 1 日
指定期間		平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日（5 年間）
業務内容		<p>荒川区立授産場条例の規定に基づく業務</p> <p>(1) 事業に関する業務 ア：作業及びそれに必要な設備の提供に関すること イ：作業の相談及び指導に関すること</p> <p>(2) 施設の維持管理に関する業務 ア：施設及び付属設備の保守点検に関する業務 イ：施設の清掃に関する業務 ウ：備品の管理に関する業務 エ：その他の維持管理に関する業務</p> <p>(3) その他区が必要と認める業務</p>

平成 29 年度の事業計画

- (1) 事業の運営については、今日まで培ってきた授産場運営のノウハウを生かし、利用者に適切な仕事を提供することで、生きがいづくりと健康で安定した生活を営んでもらえるよう努める。
- (2) 利用者の安定的な加工賃確保のため、受注量の安定化に努める。
- (3) 利用者の健康維持のために医師による健康診断を月に 2 回実施するとともに、毎日体操の時間を設け、作業の安全と健康増進に努める。
- (4) 利用者等の個人情報保護については、緊急時対応のための情報のみを保有することとし、取扱いには常に細心の注意を払う。

平成 29 年度の事業実績

29 年度末利用者は、18 名（28 年度末利用者：20 名）であった。

受注については 8 社（28 年度実績 10 社）、受注額は 8,699,696 円（28 年度受注額は 10,157,520 円で約 14% 減）であった。

月別平均工賃は、40,276 円（28 年度：40,958 円）、最高月は 12 月の 54,265 円（28 年度最高月：12 月 56,466 円）、最低月は 8 月の 27,420 円（28 年度最低月：8 月 29,309 円）であった。

健康管理については、毎月 2 回（第 2・4 火曜日）嘱託医による問診、血圧測定等を行った。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	荒川区立授産場指定管理者業務仕様書に則して適切に運営されている	○
	苦情を受け付けるための窓口を設置している	○
	非常災害対策を行っている	○
	健康管理を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	施設長を配置している	○
	作業指導員を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	作業室、作業設備など基準を満たした設備を設けている	○
		結果
		適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
安定した工賃確保に努めている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・受注額は利用者の減少に伴い前年比で約14%減少となった。一人当たりの月別平均工賃も約2%と若干の減少となったが利用者の工賃確保のため効率的な受注に努めた。
- ・利用者アンケートの「総合的な感想について」の結果が、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合せて82.4%となっており良好な評価を得ている。
- ・節電への対応として、室内照明器具の間引き及び空調温度の設定、昼休みの消灯等を徹底した。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者アンケートの満足度は良好であるが、更なる満足度向上に繋がる、より働きやすい環境づくりに努める必要がある。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	16,721,091	17,587,259	17,698,244	17,394,984
	その他収入	0	0	0	0
	計	16,721,091	17,587,259	17,698,244	17,394,984
支出	運営費	627,588	623,350	816,088	742,356
	管理費	6,101,109	5,922,857	6,191,516	5,965,832
	<small>本部経費</small>	796,242	837,488	1,165,680	1,137,844
	人件費	9,295,265	9,709,326	9,655,458	9,352,198
	修繕費	697,129	1,331,726	1,035,182	1,334,598
	その他支出	0	0	0	0
	計	16,721,091	17,587,259	17,698,244	17,394,984
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・本部経費は年度協定により、運営費・管理費（修繕費含む）・人件費の決算額の7%相当額と定めている。
- ・決算では、支出に応じて指定管理料を精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	荒川区シルバー人材センターの決算であるが、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年対比において、少ない経費で適切な運営を行っており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	労働契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・施設及び付属設備の保全については、シルバー人材センターの会員による館内日常清掃及び樹木剪定を始め各種設備保守を効果的、効率的に行い、適切な維持管理に努めている。
- ・法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	高齢者福祉課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川福祉作業所
	所在地	荒川区荒川一丁目 5 3 番 9 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目 1 3 番 2 0 号
施設開設年月日		昭和 4 8 年 6 月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 1 9 年 4 月 1 日
指定期間		平成 2 9 年 4 月 1 日 ~ 平成 3 4 年 3 月 3 1 日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・通常の事業所に雇用されることが困難である知的障がい又は身体障がい者を対象に、福祉的就労の機会を提供するとともに、生産活動等を通じ、自立に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、社会の一員として充実した生活ができるよう、自立援助を行う。
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対し、自立して暮らせることを目的とした支援（就労継続支援 B 型）と、個々の状況に応じ就労（就労移行支援事業）に向けた支援を行う。 ・就労継続支援事業 B 型については、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導し、工賃収入増を図る。 ・就労移行支援事業については、利用者の状況、保護者の要望を尊重して就職指導を行い、一般企業への就職を目指す。 ・家庭及び関係機関との連携並びに地域との交流を図り、地域での自立生活を支援する。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援事業 B 型 4 1 人（定員 4 8 人） 就労移行支援事業 1 人（定員 7 人） ・一人あたりの平均工賃支給目標を 8 千円とし、月ごとに売り上げ目標を定めて作業に取り組み、7 月～ 8 月及び 1 0 月～ 3 月は目標を達成した。 ・受注作業以外に、自主生産活動を行い、各種イベントでの販売や出品等を行った。 ・就労移行支援事業では、専用室を設けパソコンを使つての訓練を行うとともに、事務系作業訓練の一環として、アクロスあらかわでの実習を行うなど、就労に向けてのプログラムを実施した。 ・5 0 歳以上の利用者を対象に、毎日のウォーキングの実施や、食事や感染症等についての講義を企画、実施した。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている	○	
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○	
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している	○	
看護職員及び生活支援員等を配置している	○	
設備基準を満たしているか		
訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<p>・利用状況調査では、39人中33人(84%)が「作業所に通うのが好き」と回答をしている。</p> <p>・高齢の利用者へのウォーキングなど健康に配慮した対応は評価できる。</p> <p>・自主生産品の各種イベントでの販売、実習生受入れ、区内小学校への出張による心のバリアフリーに関する授業等を実施した。</p> <p>・福祉避難所訓練及び災害用備品の使用方法に関する研修を行うとともに、地震等発生時、利用者の家族に一斉情報送信できるようメーリングリストを作成した。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>・今後とも、就労継続支援B型事業において、工賃向上の工夫が望まれる。</p>				

施設決算状況					
年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	205,849,333	215,510,766	247,540,167	236,210,440
	その他収入	0	0	0	0
	計	205,849,333	215,510,766	247,540,167	236,210,440
支出	運営費	4,672,519	10,573,109	12,134,639	11,232,206
	管理費	49,579,359	45,281,093	51,144,616	50,523,481
		本部経費	28,422	20,378	0
	人件費	150,212,164	156,068,896	182,310,912	173,105,309
	修繕費	1,385,291	3,587,668	1,950,000	1,349,444
	その他支出	0	0	0	0
	計	205,849,333	215,510,766	247,540,167	236,210,440
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・収支当初計画・決算額は、荒川生活実習所を含んでいる。
- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、事業活動計算書、管理費支出内訳表、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。差額は軽微であり、予算管理は極めて適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	資金収支計算書にて、予算額より収支の削減をしていることが確認でき、経費の縮減努力が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・利用者に対するサービスの提供は、適切に行われている。
- ・また財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川生活実習所
	所在地	荒川区荒川一丁目53番9号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～平成34年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成29年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年代の利用者のニーズに応えるため、多彩な活動メニューを実施すると共に、「利用者自身が決めて行動する。」「利用者が自分の役割を感じられる」ことに重点を置き支援する。 ・自主製品販売、買い物活動、地域での作品展示、外出活動、ボランティア活動により、地域との交流に力を入れる。 ・日々の健康状態の把握及びウォーキング・体操の実施により身体機能を維持し、健康を維持する。 		
平成29年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数42人（定員42人） ・少人数のグループごとにきめ細かな支援を行うことにより、個々の利用者の自主的な活動やグループ間を超えた活用等幅広い活動につながった。 ・障がいの多様化や幅広い年齢層に対応するため、医療体制の確認や家庭での生活全体の支援状況の把握など、保護者との信頼関係の構築に努めた。 ・ボランティアを積極的に受け入れ、利用者の意欲向上や体験の幅を拡大する機会を増やした。 		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規定を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した説明を行い、同意を得ている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者及びサービス管理責任者を配置している		○
	看護職員及び生活支援員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している		○
			結果
			適合
その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査では、回答のあった26人中24人(92%)が「実習所が好き」と回答をしている。 ・森林ボランティア団体とのワークショップなどを通じて、利用者の意欲向上や体験の幅を拡大する機会を増やすとともに、町会・民生委員等との連携など、地域交流を図っている。 ・福祉避難所訓練及び災害用備品の使用方法に関する研修を行った。 			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、利用者の高年齢化や障がいの状況によるニーズの多様化を踏まえ、一人一人の状態に沿ったきめ細やかな対応が望まれる。 			

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	205,849,333	215,510,766	247,540,167	236,210,440
	その他収入	0	0	0	0
	計	205,849,333	215,510,766	247,540,167	236,210,440
支出	運営費	4,672,519	10,573,109	12,134,639	11,232,206
	管理費	49,579,359	45,281,093	51,144,616	50,523,481
	本部経費	28,422	20,378	0	43,347
	人件費	150,212,164	156,068,896	182,310,912	173,105,309
	修繕費	1,385,291	3,587,668	1,950,000	1,349,444
	その他支出	0	0	0	0
	計	205,849,333	215,510,766	247,540,167	236,210,440
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・収支当初計画・決算額は、荒川福祉作業所を含んでいる。
- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、事業活動計算書、管理費支出内訳表、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。差額は軽微であり、予算管理は極めて適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	資金収支計算書にて、予算額より収支の削減をしていることが確認でき、経費の縮減努力が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・利用者に対するサービスの提供は、適切に行われている。
- ・また財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	尾久生活実習所本所 / 尾久生活実習所分場
	所在地	荒川区西尾久六丁目 17 番 3 号 / 荒川区西尾久四丁目 6 番 4 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目 13 番 20 号
施設開設年月日		平成 7 年 4 月 1 日 / 平成 14 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 18 年 4 月 1 日
指定期間		平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の活動状況に合わせた柔軟な対応を行うため、グループ同士が連携した一体的な運営を図る。 ・利用者や家族の意向に沿った支援の徹底を図るべく、個別支援計画の充実を図る。 ・利用者の活動希望に合わせて、少人数でのクラブ活動を行う。 ・きめ細やかなサービスを提供するために、ケース会議による情報共有、専門職同士の連携の充実、職員のスキルアップに努める。 ・地元自治会と協同した福祉避難所開設準備訓練などの災害対策を通して、地域交流を図る。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 43 人（定員 44 人） / 分場 19 人（定員 19 人） ・リズム体操、陶芸、調理などの各種訓練を行う際に職員同士がグループを超えて一体的な支援を行った。 ・宿泊訓練の他、利用者の社会的経験の幅を広げる日中も外出活動を行った。 ・利用者・家族と個別面談を行い、利用者の希望や能力に応じた個別支援計画をサービス管理責任者と支援員とが協働して作成した。 ・職員の欠員補充を行い、職員の適正配置に努め、各種研修を通して、職員のスキルアップを図った。 ・情報誌の発行、施設公開、絵画展示などに加え、併設施設、地元町会と協力し、福祉避難所開設準備訓練を実施し地域交流に積極的に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規定を定めており、適切に守られている		○
	重要事項を記した説明を行い、同意を得ている		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者及びサービス管理責任者を配置している		○
	看護職員及び生活支援員等を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している		○
		結果	適合
その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査では54人中44人(81.5%)が満足であると回答している。 ・定期的なボランティアの受け入れや施設の自由見学会を実施している。 ・地元町会と協力し、福祉避難所開設準備訓練を実施している。 			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、利用者の高年齢化や障がいの状況によるニーズの多様化を踏まえ、一人一人の状態に沿ったきめ細やかな対応が望まれる。 			

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	218,506,823	226,929,567	257,645,501	245,241,039
	その他収入	0	0	0	0
	計	218,506,823	226,929,567	257,645,501	245,241,039
支出	運営費	11,241,042	11,904,572	13,757,289	12,815,086
	管理費	47,410,796	50,378,808	50,353,671	50,591,153
	本部経費	415,334	400,911	0	404,309
	人件費	158,138,474	161,548,675	193,534,541	176,127,694
	修繕費	1,716,511	3,097,512	0	5,707,106
	その他支出	0	0	0	0
	計	218,506,823	226,929,567	257,645,501	245,241,039
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて指定管理料全体を精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、支出内訳明細、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。差額は軽微であり、予算管理は極めて適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	老朽化等により備品購入が増え、管理費は当初計画を上回るが、その他は経費の縮減努力と効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・利用者に対するサービスの提供は、適切に行われている。
- ・また財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	障害者福祉会館（アクロスあらかわ）
	所在地	荒川区荒川二丁目 5 7 番 8 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目 1 3 番 2 0 号
施設開設年月日		平成 9 年 8 月 2 2 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 2 6 年 4 月 1 日
指定期間		平成 2 6 年 4 月 1 日～平成 3 1 年 3 月 3 1 日
業務内容	<p>・障がい者が地域の中で豊かに暮らしていくことを目指し、障がいのない方も含めた区民の幅広い交流、文化活動、情報提供の場を提供するとともに、障がい者向けの文化・教養講座、IT講習会などの各種事業を実施する。</p>	
平成 29 年度の事業計画		
<p>・障がいのある方の社会参加を支援する地域の拠点に加え、福祉教育や特定相談支援の機能を併せ持つことにより、自立と社会参加の促進を進める。</p> <p>・講座や事業、イベントの事業運営に当たっては、ニーズを的確にキャッチして企画を実施し、障がいのある方や当事者団体と連携・協力していく。</p> <p>・日々の運営や事業を通して、地元町会や障がい者団体、ボランティアとの地域の支えあいのネットワークを作る。</p> <p>・ノーマライゼーションの理念の実現に向け、長年培ってきた多くの方々や団体との協力・共同の関係を一層深める。</p>		
平成 29 年度の事業実績		
<p>・施設利用者総数 6 4 , 3 3 2 人（28 年度 6 1 , 1 9 9 人・5 %アップ）</p> <p>・貸室利用件数（貸出率）：多目的ホール 1 , 7 3 0 件（8 3 . 1 %）</p> <p style="padding-left: 20px;">第一・第二会議室 1 , 3 5 8 件（6 5 . 2 %）</p> <p style="padding-left: 20px;">第三会議室 3 3 2 件（3 1 . 9 %）</p> <p>・特定相談事業（計画作成及びモニタリング）</p> <p>・文化・教養講座事業（料理教室、リズム体操教室等）</p> <p>・IT講習会事業（障がい者向けパソコン入門講座）</p> <p>・ふれあい交流事業（障がい者スポーツ交流会、区内小学校での福祉事業教育講座等）</p> <p>・ばん座位体操、アクロス・連合会まつり等</p>		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	障がい者が利用しやすい施設の運営、情報収集及び提供ができています		○
	個人情報などの管理が適正である		○
人員配置基準を満たしているか			
	管理者を配置している（特定相談支援事業）		○
	運営や利用サービスのために必要な職員数を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	運営に必要な設備及び備品等を備えている		○
			○
			結果
			適合
その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査では、88人中76人（86%）が「大変良い」「良い」と回答をしている。 ・登録団体との意見交換を通じて、会議室の利便性向上を高める取り組みをしている。 ・施設公開を実施するなど、地域との交流を図っている。 ・地域と合同の福祉避難所開設訓練を行うなど防災対策に取り組んでいる。 ・特定相談支援事業にも積極的に取り組み、利用計画の作成件数は当初見込より増加した。 			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、利用者のニーズをより一層、反映させて各種講座を実施することが望まれる。 			

施設決算状況

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	44,242,262	58,880,589	57,774,425	58,535,738	
	その他収入	0	0	0	0	
	計	44,242,262	58,880,589	57,774,425	58,535,738	
支出	運営費	2,639,239	16,237,603	13,366,059	16,385,975	
	管理費	19,518,119	19,543,559	20,520,487	19,744,394	
	本部経費	20,798	45,975	0	64,789	
	人件費	21,628,172	21,743,790	23,887,879	21,775,621	
	修繕費	456,732	1,355,637	0	629,748	
	その他支出	0	0	0		
	計	44,242,262	58,880,589	57,774,425	58,535,738	
収支差額	0	0	0	0		

(施設決算状況の説明)

- ・平成29年度の運営費は、利用計画の作成件数が当初見込額より増加したため、指定管理料を追給した。
- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、事務費事業費支出内訳明細、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。支出額は予算通りである。予算管理は極めて適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	特定相談支援事業に積極的に取り組んだことで収入が増加したとともに、消耗品の在庫管理の徹底等により経費が削減されており効果的活用が行われていた。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・来館者数も増加し、多目的ホールの利用率も高く、適切な施設管理・運営に取り組んでいる。
- ・また財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）
	所在地	荒川区東尾久五丁目 4 5 番 1 1 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 トラムあらかわ
	所在地	荒川区東尾久三丁目 2 0 番 1 0 号 ベルメゾンエス 2 階
施設開設年月日		平成 1 5 年 1 月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 1 5 年 1 月 4 日
指定期間		平成 2 6 年 4 月 1 日～平成 3 1 年 3 月 3 1 日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活する精神障がい者の日常生活の支援、相談を行い、精神障がい者の社会復帰と自立、社会参加を促進するため、憩いや地域交流ができる場を提供し、精神ボランティア活動等の拠点とする。
平成 29 年度の事業計画		
<p>地域活動支援センターとして、精神障がい者が地域社会で生活しやすい環境づくりに努めることを基本方針に掲げて、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の地域活動支援として、グループ活動や各種の講座、利用者のミーティング等を実施。 ・地域交流活動として、公開講座のほか、納涼祭等のイベントを開催。 ・相談活動として、電話や面接による相談のほか、特定相談支援事業として、サービス等利用計画の作成を実施。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム参加者数 4, 258 人（28 年度 4, 202 人） <p>実施内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作的・レクリエーション的活動プログラム（夕食会・しごと講座等） 自主活動的プログラム（家族学習会、セルフヘルプミーティング等） 地域交流プログラム（ボランティア講座、利用者ミーティング、スポーツ交流祭、新年のつどい等） <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業 相談件数 24, 330 件（28 年度 25, 560 件） ・特定相談支援事業実人数 78 人（26 年度より開始） ・実習生受入 など 		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	運営規定を定めており、適切に守られている		○
	個人情報などの管理が適正である		○
人員配置基準を満たしているか			
	施設長を配置している		○
	指導員を2名以上配置している		○
設備基準を満たしているか			
	創作活動の機会の提供に必要な設備及び備品等を備えている		○
	社会との交流促進等に必要な設備及び備品等を備えている		
			結果
			適合
その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を受審し、「満足」「どちらかといえば満足」の合計が90.3%であった。 ・施設の拡張に合わせて、プログラムの充実を図ったほか、地域交流では地域の方を施設の行事へ招くだけでなく、施設側からも公園清掃等に積極的に参加している。 ・災害時に備え、職員及び利用者向けの防災訓練を実施している。 			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、利用者の症状や程度の違い、高齢化等に対応し、利用者側の視点に立ち、よりきめ細やかなサービス提供が望まれる。 			

施設決算状況

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	38,860,528	41,137,212	52,371,040	50,028,835	
	その他収入	0	0	0	0	
	計	38,860,528	41,137,212	52,371,040	50,028,835	
支出	運営費	4,472,098	4,945,616	6,404,919	6,667,188	
	管理費	3,800,702	4,228,360	6,141,515	5,280,109	
	本部経費	21,053	13,277	0	56,025	
	人件費	30,003,292	31,622,380	39,204,474	36,798,669	
	修繕費	584,436	340,856	620,132	1,282,869	
	その他支出	0	0	0	0	
	計	38,860,528	41,137,212	52,371,040	50,028,835	
収支差額	0	0	0	0		

(施設決算状況の説明)

- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、事業別元帳を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	決算書にて、予算と実績の乖離を確認した。要因分析の記載内容は明確である。予算管理は適正であると判断できる。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費の削減等により予算に比べ経費削減されており、効果的活用が行われていた。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、収益性及び安定性は極めて良好、成長性及び活動性・健全性は良好であり、極めて良好な財務力を有している。	優良

総合評価

- ・利用者に対するサービスの提供は、適切に行われている。
- ・また財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	小台橋保育園
	所在地	荒川区西尾久六丁目 9 番 7 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目 9 番 7 号
施設開設年月日		平成 16 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成 16 年 4 月 1 日
指定期間		平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員 150 名、子育て交流サロン併設)
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の計画的補修、備品器具什器や園庭遊具の安全点検を実施。また、保育室内の温度、湿度、換気、採光を適切に管理し、施設内外の設備・用具の衛生管理に努めるほか、施設内の清掃・消毒を実施し、衛生状態の保持に努める。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員同士の情報の共有化を心掛け、職員意識の一体化を通して保育サービスの向上に努める。また、施設内外研修を積極的に実施するほか、専門的分野を超えた幅広い研修機会を設ける。 ・保育目標の下、保育計画及び評価、保育行事の積極的実施、体育遊びや異年齢児交流等の特色的保育活動の実施、特別支援児保育、小学校との連携、保護者支援、健康管理及び支援、食育及び給食の実施、環境衛生と安全管理、に積極的に取り組む。 ・保護者との信頼関係が基本との考えから、定期的な懇親会や保育参加、個人面談等開催し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。また、保育方針や保護者との取り決めについて、職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。 ・所管消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。 ・小学校との連携や中高生等との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて、地域交流を図るほか、子育て交流サロンを実施し、積極的に在宅支援を行う。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケート等を実施し、高い満足度を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫を行うことにより、子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行う等、保護者との信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は93.7%（第三者評価）となっている。また、保護者会等で意見・要望等を聞く体制作りをしている。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は62.5%と極めて高く、小学校との連携、中高生との異年齢交流等の地域交流を積極的に行っている。
- ・子どもの発達に合わせた体操遊びを行い、体を動かすことの楽しさを実感させ、敏捷性や四肢の発達に取り組んでいる。
- ・保護者との懇談会や保育参加、個人面談等を定期的実施すると共に、全職員が保育方針について丁寧に説明できる体制を確保している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・子どもの発達に合わせた遊びの内容の充実について、更なる工夫を期待したい。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	249,631,941	246,752,243	254,661,024	254,272,634
	その他収入	10,665,102	10,832,823	11,200,234	11,343,276
	計	260,297,043	257,585,066	265,861,258	265,615,910
支出	運営費	21,706,902	18,836,034	18,854,877	27,226,261
	管理費	9,144,870	8,829,274	10,212,723	10,148,902
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	191,828,693	203,101,952	203,122,711	201,703,205
	修繕費	1,091,880	1,522,260	200,000	129,600
	その他支出	2,246,400	2,473,800	2,332,200	2,332,200
	計	226,018,745	234,763,320	234,722,511	241,540,168
収支差額		34,278,298	22,821,746	31,138,747	24,075,742

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。
- ・その他収入には子育てサロン事業の委託費を含んでいる。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算・実績の差異はやや多くなっているが、原因は分析されているので予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、運営費が増加しているが、園児のための環境整備によるもので、経費の効果的活用が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総合評価

・サービス面、財務・労務面は良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	上尾久保育園
	所在地	荒川区西尾久八丁目 10 番 12 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目 9 番 10 号
施設開設年月日		昭和 57 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成 18 年 4 月 1 日
指定期間		平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員 100 名)
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施。また、園舎、園庭、遊具等の危険箇所の点検を常に行い、安全性向上に心掛ける。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより、職員全員が成果を共有できるよう努める。労務問題にも対応し、知識の共有を図る。 ・乳幼児が初めての集団生活で、食事・睡眠・排泄ができ、物事に対する善悪の判断や人に対する優しさ、いのちの尊さを大切にできるように、また地域の中でいきいきと健やかに育つよう、心豊かな保育を実施し、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。 ・事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。また、苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し、改善策を園内に掲示する等、積極的な対応を図る。 ・年間計画をたて、毎月避難訓練を行うほか、年 2 回、尾久消防署の来訪指導を受ける。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を行う。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。 ・地域に向けた情報発信、広報を行う。運動会、敬老会等に地域住民を招待するほか、通所サービスセンターの高齢者との交流会を実施。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケート等を実施し、高い満足度を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫を行うことにより、子どもの育ちに変化が生じた実践事例がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行う等、保護者との信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は96.9%（第三者評価）となっている。また、行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は50.1%で極めて良好である。
- ・高齢者施設への訪問や近隣の保育施設との交流を通して、地域交流と児童の就学へ向けての取組みを積極的に行っている。
- ・体操教室や科学遊び等子どもの情操に役立つ環境を整え、地域環境の関わりの中で発育、発達を育む力の育成をする取組みを実施している。
- ・苦情解決マニュアルを設置するほか、苦情箱を設置し、改善策を園内に掲示するなど、保護者との信頼関係構築に努めている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・様々な遊びのコーナーを充実させる等、子どもが主体的に遊びを選べるような環境づくりについて、更なる工夫を期待したい。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	214,659,790	215,754,265	227,508,000	227,510,484
	その他収入	1,448,000	1,306,050	1,320,000	1,470,750
	計	216,107,790	217,060,315	228,828,000	228,981,234
支出	運営費	18,457,885	18,843,443	18,213,000	18,234,771
	管理費	3,662,231	3,891,495	5,115,000	5,018,341
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	142,950,456	146,221,705	153,970,000	153,961,630
	修繕費	738,683	1,381,536	1,360,000	1,350,260
	その他支出	0	1,248,824	1,300,000	1,295,207
	計	165,809,255	171,587,003	179,958,000	179,860,209
収支差額		50,298,535	45,473,312	48,870,000	49,121,025

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、差異は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収支差額は大きくなっているが、経費は概ね当初計画とほぼ等しく、経費の効果的活用が行われていた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、安定性は優れていて、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・サービス面、財務・労務面は良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住さくら保育園
	所在地	荒川区南千住四丁目 9 番 4 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目 9 番 10 号
施設開設年月日		平成 12 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 18 年 4 月 1 日
指定期間		平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員 110 名)
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施。また園舎、園庭、遊具等の危険箇所の点検を行い、安全性向上に心掛ける。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより、職員全員が共有できるように努める。労働問題も知識の共有化を図る。 ・家庭や地域社会との連携を図り、保護者の協力の下、家庭養育の補填を行い、子どもが健康かつ安全で情緒の安定した生活が送れる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるように、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を培えるよう努める。また、保育の質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。 ・事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。また、苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し、改善策を園内に掲示する等、積極的な対応を図る。 ・年間計画を立て、毎月避難訓練を行うほか、年 2 回、荒川消防署（汐入出張所）の来訪指導を受ける。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を行う。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。 ・地域に向けた情報発信、広報を行う。夏祭り、運動会、高齢者との交流会等に地域住民を招くことで、地域とともに子育てを支援する体制を強化する。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケート等を実施し、高い満足度を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫を行うことにより、子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行う等、保護者との信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は91.3%（第三者評価）となっている。また、行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は28.3%で、良好である。
- ・保育園の行事を公開し、地域住民に参加してもらうことで、保育園の機能を生かし、友好的な関係を築いている。
- ・体育教室やおはなし会等の特色的な保育を通して、個々の表現力、発想力を伸ばし、自立への基礎作りに取り組んでいる。
- ・苦情解決マニュアルを設置するほか、苦情箱を設置し、改善策を園内に掲示するなど、保護者との信頼関係構築に努めている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・絵本や玩具、遊具の有効的な活用など、保育の環境づくりについて、更なる工夫を期待したい。

施設決算状況

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	231,322,878	232,398,700	234,398,000	234,394,793	
	その他収入	1,531,400	1,275,850	1,424,000	1,507,250	
	計	232,854,278	233,674,550	235,822,000	235,902,043	
支出	運営費	22,077,586	20,322,550	19,715,000	19,721,814	
	管理費	3,642,110	4,215,818	5,524,000	5,671,596	
	本部経費	-	-	-	-	
	人件費	142,504,460	141,423,538	159,475,000	159,444,192	
	修繕費	656,243	754,300	700,000	726,169	
	その他支出	0	1,406,734	1,400,000	1,365,618	
	計	168,880,399	168,122,940	186,814,000	186,929,389	
収支差額	63,973,879	65,551,610	49,008,000	48,972,654		

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計手続は適正に行われていた。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、差異は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、経費は概ね当初計画とほぼ等しく、収支差額も前年度より縮小しており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、安定性は優れていて、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・サービス面、財務面・労務面は良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	汐入とちのき保育園
	所在地	荒川区南千住八丁目 3 番 3 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子二丁目 19 番 2 1 号
施設開設年月日		平成 12 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 18 年 4 月 1 日
指定期間		平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できない ときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員 110 名)
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・園庭を整備し、安全で安らぎのある場として整える。また、保育室や備品類等が使いやすいよう工夫し、子どもが安心して生活できるよう環境を整える。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、それぞれの段階に応じて必要な専門知識、技術を身に付けられるよう工夫するほか、研修成果の報告・共有化を図る。 ・子ども達一人ひとりと丁寧に向き合い、受け止め、愛おしい存在として認める環境を用意し、その中で様々な心の動きを体験し、自信・満足感・意欲を持ち、互いに育ちあえる保育の援助を行う。また、保護者との信頼関係をしっかりと結ぶことを心掛けるほか、地域に根差した保育を目指す。 ・アンケートの実施や意見箱の設置等により、利用者意見をくみ取るよう努める。苦情に対しては、対応マニュアルの整備等により、適切に対応する。 ・月 1 回以上の防災安全点検、避難訓練、初期消火訓練、応急救護、AED 訓練等を実施する。事故未然防止策、ヒヤリハット事例を職員間で共有し、怪我等を未然に防げるよう努める。法人全体の個人情報保護規定の会議での読み合わせや個人情報保護研修を実施する。 ・卒園児の子育てボランティアや父親の子育て参加をはじめとして、子育てを社会全体で支援するため、地域の老人会、小中学校との交流、子どもに携わる施設との交流を積極的に行う。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケート等を実施し、高い満足度を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫を行うことにより、子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行う等、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は86.7%（第三者評価）となっている。また行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は38.4%で、良好である。
- ・芋煮会や餅つき大会等の行事を地域に開放し、高齢者や子育て家庭等の交流を積極的に行っている。
- ・造形活動の時間を作り、異年齢児と協力し、創作活動をする中で、自由に自己を表現する楽しさとイメージを形にしながら指先の巧緻性を育む取組みを行っている。
- ・行事ごとのアンケート実施や意見箱の設置等により、保護者の意見をくみ取ると共に、苦情に対して適切に対応している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・様々な遊びのコーナーを充実させる等、子どもが主体的に遊びを選べるような環境づくりについて、更なる工夫を期待したい。

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	241,554,675	240,175,067	238,562,000	238,634,504
	その他収入	3,220,621	3,239,223	3,322,000	3,296,206
	計	244,775,296	243,414,290	241,884,000	241,930,710
支出	運営費	25,841,741	29,273,162	25,644,000	26,045,673
	管理費	13,810,208	12,776,950	16,200,000	14,069,582
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	173,452,152	165,307,933	173,644,000	171,970,844
	修繕費	1,795,079	1,025,326	3,000,000	1,734,144
	その他支出	2,904,650	2,745,750	2,730,000	2,731,633
	計	217,803,830	211,129,121	221,218,000	216,551,876
収支差額		26,971,466	32,285,169	20,666,000	25,378,834

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計手続は適正に行われていた。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、差異は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	運営費実績は予算より増加しているが、園児のための各種環境対策を行っている等、経費の効果的活用は行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性に課題があるが、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・サービス面、財務・労務面は良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	はなみずき保育園
	所在地	荒川区南千住八丁目 5 番 5 号
指定管理者	名称	株式会社 こどもの森
	所在地	国分寺市光町二丁目 5 番 1 号
施設開設年月日		平成 18 年 1 月 4 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 28 年 4 月 1 日
指定期間		平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できない ときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員 150 名)
平成 29 年度の事業計画		
<p>・全職員で環境整備に取り組み、事故や怪我の予防につながる施設の適正な維持管理に努めるほか、職員の環境整備への意識向上のため、専門講師による完了整備の研修を定期的実施する。</p> <p>・職員の配置については、区の配置基準に基づき配置する。また、グループ力を活かした経験別研修等を実施や、スタッフシートを活用し、管理職による一般職員の育成を図る。</p> <p>・保育所保育指針に沿った保育方針を基本とし、一人ひとりの生きる力を育て「輪・和の保育」を創造することを理念として実施。また、食育の推進、地域間・世代間交流の実施、父親の子育てに対する意識喚起、在宅育児支援等、積極的に行う。専門家による英語、音楽、体育指導等を通して、子どもが多く体験ができる機会を設ける。</p> <p>・ご意見箱の設置等により、保護者の声を様々な方法で受け付ける。また苦情に対しては、迅速な対応を心掛け、誠意を持って対応するとともに、苦情簿の整備や第三者委員の設置、定期的な保護者へのアンケート調査等を行い、運営面の改善に努めている。</p> <p>・全職員に対する危機管理や事故防止マニュアルの遵守の徹底を図るほか、怪我・ヒヤリハット事例等の情報を得ることで、怪我・事故防止に役立てる。また、事故・災害発生時に法人本部、地域の関係機関と連携する体制を強化する。避難訓練を毎月実施するほか、有事における保護者への情報伝達として災害伝言掲示板等のメールサービスを活用する。</p> <p>・開かれた保育所として、行事の開放や共同実施、世代間交流を図るほか、幼稚園、子ども園、保育園の交流会や自治会行事へ積極的に参加する。また、地域活動を実施し、育児相談、育児講座、情報提供等を積極的に展開する。</p> <p>・光熱水費等は前年度の金額を基に予算管理を行うほか、備品購入にあたっては、複数業者から見積もりを取り、経費削減に努める。また、職員会議等で前年対比を周知し、全職員がコスト意識を持った運営を行うようにする。</p>		
平成 29 年度の事業実績		
<p>・適切に施設の維持管理を行った。</p> <p>・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。</p> <p>・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。</p> <p>・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。</p> <p>・適切に危機管理を行った。</p> <p>・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。</p>		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケート等を実施し、高い満足度を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫を行うことにより、子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行う等、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は97.6%（第三者評価）となっている。また日頃の保育内容について、アンケート調査を実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区内事業者の活用実績があり、地域との関わりづくりに取り組んでいる。
- ・開かれた保育所として行事の開放や共同実施、幼稚園やこども園との交流会への参加等に、積極的に取り組んでいる。
- ・朝マラソンや体操の時間を行い、体力向上を図っている。また年齢に合わせた手作り玩具の作成や英語、音楽に触れ合う時間を作り、心身の成長に繋がる保育を実施している。
- ・ご意見箱の設置や定期的なアンケート実施等により保護者の声を様々な方法で受け止め、運営面を改善している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・若手からベテランまでバランスのとれた保育士の配置や、保育士の処遇改善などについて、更なる職員体制の充実を期待したい。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	261,667,983	253,038,981	262,100,000	251,424,316
	その他収入	2,853,053	3,125,873	1,450,000	3,422,222
	計	264,521,036	256,164,854	263,550,000	254,846,538
支出	運営費	12,775,727	11,682,906	14,450,000	13,413,415
	管理費	55,919,310	56,053,959	59,530,000	61,041,604
	人件費	126,504,344	132,998,309	137,000,000	132,513,868
	修繕費	131,112	226,471	300,000	287,208
	その他支出	2,061,750	1,929,500	0	1,916,750
	計	197,392,243	202,891,145	211,280,000	209,172,845
収支差額	67,128,793	53,273,709	52,270,000	45,673,693	

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、差異は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	収支差額が大きく、経費の更なる効果的活用が望まれるが、前年より改善が見られる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、改善が必要な項目が一部あるが、改善の方針が示されている。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性等が優良である。又、健全性が良好であり安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・サービス面、財務・労務面は良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住保育園
	所在地	荒川区南千住六丁目 3 5 番 3 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目 9 番 1 0 号
施設開設年月日		昭和 4 2 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 2 8 年 4 月 1 日
指定期間		平成 2 8 年 4 月 1 日 ~ 平成 3 3 年 3 月 3 1 日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できない ときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員 1 5 9 名)
平成 2 9 年度の事業計画		
<p>・防錆、防腐等をこまめにチェックし、補修メンテナンスを行う。電気設備・昇降機設備の点検等の一括発注によるコスト削減、照明・冷房スイッチのこまめな入切による光熱水費の削減等、効率の良い維持管理に努めるほか、園舎、園庭、遊具等の危険箇所の安全点検を実施する。</p> <p>・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。新規採用職員には、採用前に基本研修を法人本部で実施するほか、年間を通じて高い意識とビジョンを持ち、様々な研修を開催する。人事評価により、常にチャレンジ精神を持ち、互いに刺激し合い、学び合う環境を作る。労務問題に関する知識について職員間での共有化を図る。</p> <p>・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、隣人愛に基づく保育を行い、笑顔であいさつができ、心身ともに元気でたくましく生き抜く力を育む。集団生活や異年齢児交流を通して、思いやる心や信頼する心を育成する。地域子育て支援拠点として、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握も行う。</p> <p>・様々な配付物や面談、日々のあいさつ等を通じて、より良い保育と信頼関係作りができるよう保護者とのコミュニケーションを図る。クレーム、苦情、相談、要望については、誠意を持って対応するとともに、プライバシーを配慮しながら結果を公表し、運営向上のため反映させていく。</p> <p>・施設の危険防止対策として、保育リスクマネジメントマニュアルや安全配慮チェックリストを整備する。避難訓練の年間計画や災害発生時の対応マニュアル等に基づき、毎月訓練を実施する。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。</p> <p>・地域に根差した施設を目指し、近隣の小中学校との交流や高齢者とのふれあいを通じて、地域一体となって連携の輪を深め、地域に向けた情報発信、広報を行う。</p>		
平成 2 9 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケート等を実施し、高い満足度を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫を行うことにより、子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行う等、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は96.2%（第三者評価）となっている。また行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は39.9%で、良好である。
- ・高齢者との交流や近隣の小中高生と関わる機会を通じ、地域との連携を深めている。
- ・苗植えから収穫までを体験し、普段食べているものを知り、食の大切さや楽しさを体験しながら心身の豊かな発達を促す取組みを実施している。
- ・苦情箱の設置やプライバシーを配慮した上で内容を公表又は掲示をし、より良い運営につなげている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・子どもが主体的に遊びを選べるような環境づくりについて、更なる工夫を期待したい。

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	274,673,477	274,555,414	286,058,000	285,995,948
	その他収入	3,678,500	3,616,450	4,094,000	3,824,438
	計	278,351,977	278,171,864	290,152,000	289,820,386
支出	運営費	27,628,860	25,996,648	26,758,000	26,882,042
	管理費	5,251,059	5,595,382	7,183,000	7,292,051
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	187,058,951	182,293,499	201,691,000	201,803,978
	修繕費	798,043	3,597,586	2,000,000	1,915,397
	その他支出	0	2,183,073	2,000,000	2,456,281
	計	220,736,913	219,666,188	239,632,000	240,349,749
収支差額		57,615,064	58,505,676	50,520,000	49,470,637

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	前年度よりも収支差額は縮小しており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	一部の費目で予算を上回っているが、職員教育・教材の充実などによるもので、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・サービス面、財務面は良好、労務面は優良であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住七丁目保育園
	所在地	荒川区南千住七丁目 20 番 13 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東萌会
	所在地	埼玉県越谷市七左町一丁目 347 番地
施設開設年月日		平成 24 年 7 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 24 年 7 月 1 日
指定期間		平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 35 年 3 月 31 日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員 151 名、子育て交流サロン併設)
平成 29 年度の事業計画		
<p>・職員全体で積極的に環境整備に取り組むことで、事故や怪我の予防につながる施設の適正な維持管理に努める。また、専門業者による安全点検を受診し、注意点等についてアドバイスをもらう。</p> <p>・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。また、法人において充実した研修体制を整備し、園において積極的に参加するよう職員へ働きかける。</p> <p>・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、一人ひとりを大切に、生きる力の基礎を培えるような保育を実施する。家庭との信頼関係構築のため、「職員と保護者の連携が深まるよう情報の提供・交換の仕方を改善」「個々の利用者に応じた育児支援の強化」という目標を掲げ、重点的に取り組む。また、食育の推進、地域間・世代間交流の実施、地域活動事業も積極的に行う。</p> <p>・「ご意見箱」の設置等により、保護者の声を受け付ける。また、苦情に対しては、苦情解決体制を築き、適切に対応する。意見・苦情については、対応策を含め、原則としてすべて公開し、運営改善や問題等の再発防止に繋げる。</p> <p>・全職員に危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守徹底を図るほか、事故発生時に地域の関係機関と連携する体制を整備する。防災対策として、毎月の避難訓練の実施等に取り組む。個人情報保護方針に基づき、適切かつ厳重な管理を行う。</p> <p>・地域に開かれた保育として、保育園行事の地域開放や世代間交流を図るほか、子育て交流サロンでは、育児相談・育児講座・情報提供等を通じて在宅育児支援を積極的に行う。また、専門機関や小中学校との連携を図り、次世代育成支援を実施する。</p>		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケート等を実施し、高い満足度を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫を行うことにより、子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行う等、保護者との信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は74.2%（第三者評価）となっている。また、平成29年度に園で独自に利用者満足度調査を実施しており、利用者満足度は94.1%となっている。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は24.0%で、良好である。
- ・子育て交流サロンを実施し、育児相談、育児講座、情報提供等を通じて地域の在宅育児支援を積極的に行っている。
- ・荒川区就学教育プログラムの一つである「絵本のカリキュラム」で紹介されている絵本を園や家庭で読み聞かせることで、集中力、聞く力を養い、豊かな感性を育む取組みを実施している。
- ・子どもの1日の様子を記録した連絡ボードを設置するほか、頂いた意見、苦情については対応を含め、原則公開としている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・年齢に応じた具体的な保育内容、コーナー保育の充実について、更なる工夫を期待したい。

施設決算状況

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	244,650,546	248,590,157	257,969,640	257,900,326	
	その他収入	5,649,478	7,788,398	6,806,360	6,791,056	
	計	250,300,024	256,378,555	264,776,000	264,691,382	
支出	運営費	21,749,049	24,347,217	22,933,000	22,803,966	
	管理費	23,197,037	24,141,198	28,605,000	28,557,287	
		本部経費	-	-	-	-
	人件費	137,321,350	182,912,106	201,410,000	201,193,148	
	修繕費	73,710	660,089	240,000	236,060	
	その他支出	0	0	0	0	
計	182,341,146	232,060,610	253,188,000	252,790,461		
収支差額	67,958,878	24,317,945	11,588,000	11,900,921		

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。
- ・その他収入には子育てサロン事業の委託費を含んでいる。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して差異は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	人件費の増加等により、収支差額は前年度より縮小しており、経費の効果的活用は行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総合評価

・サービス面、財務面は良好、労務面は優良であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけ保育園
	所在地	荒川区東日暮里三丁目 11 番 19 号
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目 9 番 7 号
施設開設年月日		平成 25 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 25 年 4 月 1 日
指定期間		平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 35 年 3 月 31 日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員 156 名)
平成 29 年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理は、日常的な目視による点検と定期点検を実施し、安全確保に努める。職員の工夫や意見を積極的に聴取し、効率的に進められるようコスト意識を持って対応する。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員の育成については、施設内研修及び外部研修への積極的な参加を促し、保育実習や公開保育をとおして、保育の振り返りにも努める。 ・保育目標の下、保育計画及び評価、保育行事の積極的実施、体育遊びや異年齢児交流等特色のある保育活動の実施、特別支援児保育、小学校との連携、保護者支援、健康管理及び支援、食育及び給食の実施、環境衛生と安全管理、に積極的に取り組む。 ・保護者との信頼関係が基本であるとの考えから、定期的な懇親会や保育参加、個人面談等を開催し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。保育方針や保護者との取り決めについて職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。 ・所管消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施する。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。防災備蓄用品を確保し、使用方法の熟知に努める。 ・小学校との連携や中高生との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて、地域交流を図るほか、ふれあい館との合築という構造を活かして、多様な世代や地域との交流に努める。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意をもって実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケート等を実施し、高い満足度を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫を行うことにより、子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行う等、保護者との信頼関係の構築に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は90.2%（第三者評価）である。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は67.0%で、極めて良好である。
- ・ふれあい館との併設であることから、同施設利用者との交流や共同行事を開催し、地域住民と参加することで生活体験を豊かにする取組みが行われている。また、小学生から高校生までのボランティアを募集し、遊びの指導や絵本の読み聞かせ等を通して地域交流や異年齢間交流のできる場を積極的に取り入れた。
- ・保護者との懇談会や保育参加、個人面談等を定期的実施するとともに、全職員が保育方針等について丁寧に説明できる体制を確保している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・子どもの感性、表現力を育み、創造性を培う保育の充実について、更なる工夫を期待したい。

施設決算状況

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	248,311,917	254,410,172	262,184,832	261,289,232	
	その他収入	3,491,855	2,800,457	3,486,600	3,492,794	
	計	251,803,772	257,210,629	265,671,432	264,782,026	
支出	運営費	20,282,746	22,029,662	21,501,005	22,418,724	
	管理費	8,751,147	8,420,092	12,047,600	11,767,483	
	本部経費	-	-	-	-	
	人件費	203,010,122	196,840,423	213,743,985	213,416,953	
	修繕費	588,978	197,500	950,000	894,640	
	その他支出	2,463,600	2,609,400	2,730,000	2,721,600	
	計	235,096,593	230,097,077	250,972,590	251,219,400	
収支差額	16,707,179	27,113,552	14,698,842	13,562,626		

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して差異は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	人件費の増加等により、収支差額は前年度より縮小しており、経費の効果的活用は行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総合評価

・サービス面、財務面は良好、労務面は優良であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	区営住宅（西尾久七丁目住宅、西尾久三丁目住宅、南千住二丁目住宅、町屋七丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区西尾久七丁目 19 番 11 号 他 4 ヲ所
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目 10 番 1 号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成 4 年 4 月 28 日他
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 24 年 4 月 1 日
指定期間		平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日
業務内容		1 区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
平成 29 年度の事業計画		
1 住宅営繕 2 環境整備 3 施設管理 4 清掃・管理 5 計画修繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕） 樹木剪定（害虫駆除を含む） 排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守 安否確認システム保守 定期清掃（毎月 1 回） その他清掃 機械警備 なし	
平成 29 年度の事業実績		
1 住宅営繕 2 環境整備 3 施設管理 4 清掃・管理 5 計画修繕	一般修繕（共用部照明器具交換、屋上通気管補修、 玄関扉補修等 10 件） 空家修繕（畳表替、襖張替、床ワックスがけ等 11 件） 樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず） 排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守 安否確認システム 定期清掃（毎月 1 回） その他清掃 機械警備 なし	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	70	-	-	66
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	4	80%	16
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30	-	-	24
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	4	80%	16
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	4	80%	8
合計(A)	100	-	-	90
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に図っている	6	4	80%	4.8
合計(B)	10	-	-	8.8
合計(A+B)				98.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理について、24時間体制による適切な管理がなされていた。 ・保守委託業務についてはコストを抑えながら、良好な維持管理が行われていた。 ・営繕業務については、エレベーター等の専門性の高い業務を除き、区内事業者の活用率が70%を超えた。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> ・一部の空室修繕において日数を要することがあり、短縮のための努力が必要である。 ・営繕業務(エレベーター等の専門性の高い業務を除く)については、更なる区内事業者活用率の向上を目指す必要がある。 ・平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。 				

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	24,461,183	18,663,666	23,197,477	18,362,183
	利用料金収入	-	-	-	-
	その他収入	-	-	-	-
	計	24,461,183	18,663,666	23,197,477	18,362,183
支出	運営費	22,893,772	16,449,765	20,237,382	16,238,947
	管理費	1,567,411	2,213,901	2,960,095	2,123,236
	本部経費	1,567,411	2,213,901	2,960,095	2,123,236
	人件費	-	-	-	-
	修繕費	-	-	-	-
	その他支出	-	-	-	-
	計	24,461,183	18,663,666	23,197,477	18,362,183
収支差額	0	0	0	0	

(施設決算状況の説明)

- ・平成29年度は、当初の計画より一般修繕等が少なかったため、支出が少なかった。
- ・人件費については、区営住宅には専任職員が常駐していないため、当該指定管理者業務に携わる職員は本社及び支店で他の業務を兼任していることから、本部経費として管理費に計上することとしている。
- ・本施設の主たる指定管理業務が修繕業務であるため、他施設で計上している修繕費とは性質が異なることから、修繕費は計上せず、運営費に計上している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	施設ごとに決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	当初計画に対し決算が下回っているものの、必要な修繕は確実にしているため、経費の効果的活用が図られている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診状況等について、提出書類及びヒアリングにより確認した際に、一部提出書類に不備があった。再度提出された資料を確認した結果、法令に準じていると認められ、労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性のいずれも優れており、事業者本体は安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総合評価

・施設の維持管理・区民サービス等はA評価、財務面・労務面はともに良好であったことから、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	区民住宅（町屋八丁目住宅、町屋五丁目住宅） 従前居住者用住宅（町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区町屋八丁目 5 番 16 号（町屋八丁目住宅） 荒川区町屋五丁目 9 番 2 号（町屋五丁目住宅）
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目 10 番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成 10 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		【区民住宅】平成 24 年 4 月 1 日 【従前居住者用住宅】平成 27 年 4 月 1 日
指定期間		平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日
業務内容		<ol style="list-style-type: none"> 1 区民住宅、従前居住者用住宅、共同施設及び付帯施設の保 全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
平成 29 年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 住宅営繕 2 環境整備 3 施設管理 4 清掃・巡回管理 5 計画修繕 	<ol style="list-style-type: none"> 一般修繕、空家修繕（退去後の修繕） 樹木剪定(害虫駆除を含む) 排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守（町屋五丁目住宅のみ） 定期清掃 巡回管理 床等日常清掃 ゴミ置き場等清掃 なし 	
平成 29 年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 住宅営繕 2 環境整備 3 施設管理 4 清掃・巡回管理 5 計画修繕 	<ol style="list-style-type: none"> 一般修繕、（浴室、トイレ、台所の水栓交換等 50 件） 空家修繕（壁クロス張り替え等 4 件） 樹木剪定（害虫駆除は実施せず） 排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守（町屋五丁目住宅のみ） 定期清掃（年 4 回） 巡回管理 床等日常清掃（週 3 回） ゴミ置き場等清掃（可燃ゴミ収集日） なし 	

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	70			66
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	4	80%	16
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30			18
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	3	60%	12
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	3	60%	6
合計(A)	100			84
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に行っている	6	4	80%	4.8
合計(B)	10			8.8
合計(A+B)				92.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理については、24時間体制による適切な管理がなされていた。 ・保守委託業務については、区内事業者の活用に努め、良好な維持管理が行われていた。 ・営繕業務(エレベーター等の専門性の高い業務を除く)については、区内事業者の活用率が70%を超えた。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> ・居住者アンケートの結果、電話対応や対応までの時間の評価について、高い評価を受けている反面、一部低い評価をする居住者もいた。居住者の満足度が向上するように、努力が必要である。 ・専門性の高い業務を除く営繕業務については、更なる区内事業者活用率の向上を目指す必要がある。 ・平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。 				

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	52,079,202 3,122,917	32,125,866 1,425,629	28,346,833 1,716,987	22,139,021 1,308,692
	利用料金収入	-	-	-	-
	その他収入	-	-	-	-
	計	52,079,202 3,122,917	32,125,866 1,425,629	28,346,833 1,716,987	22,139,021 1,308,692
支出	運営費	499,245,30 3,027,658	28,335,241 1,251,375	24,616,236 1,488,944	19,592,652 1,169,540
	管理費	2,154,672 95,259	3,790,625 174,254	3,730,597 228,043	2,546,369 139,152
		本部経費	2,154,672 95,259	3,790,625 174,254	3,730,597 228,043
	人件費	-	-	-	-
	修繕費	-	-	-	-
	その他支出	-	-	-	-
	計	52,079,202 3,122,917	32,125,866 1,425,629	28,346,833 1,716,987	22,139,021 1,308,692
	収支差額	0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・上段：区民住宅の決算、下段：従前居住者用住宅の決算を記載している。
- ・当初計画と決算の乖離については、当初計画より居住者からの修繕依頼が少なかったためである。
- ・人件費については、住宅は専任職員が常駐していないため、当該指定管理者業務に携わる職員は本社及び支店で他の業務を兼任していることから、本部経費として管理費に計上することとしている。
- ・修繕費については、住宅は主たる指定管理業務が修繕業務であるため、他施設で計上している修繕費とは性質が異なることから、修繕費は計上せず、運営費に計上することとしている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	施設ごとに決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	当初計画に対し決算が下回っているものの、必要な修繕は確実にしているため、経費の効果的活用が図られている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診状況等について、提出書類及びヒアリングにより確認した際に、一部提出書類に不備があった。再度提出された資料を確認した結果、法令に準じていると認められ、労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性のいずれも優れており、事業者本体は安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総合評価

・施設の維持管理・区民サービス等はA評価、財務面・労務面は良好であったことから、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成29年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住駅東口自転車等駐車場
	所在地	荒川区南千住四丁目1番2号
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	足立区六町四丁目12番25号
施設開設年月日		平成14年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月2日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、 利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：2,247㎡ ・収容台数： 自転車 1,485台（定期利用1,285台、一時利用200台） 原動機付自転車 25台（定期利用20台、一時利用5台）

平成29年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 苦情・トラブルに対しては24時間365日対応する。
- 4 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し全管理員に周知徹底する。
- 5 監理員全体研修(年1回)、個別研修を行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・雨合羽の販売サービスを行う。

平成29年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
- 2 施設の修繕等を適切に行った（券売機修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年3回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）、消防設備保守点検（年2回）を行った。
- 3 施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 4 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置し全管理員に周知徹底した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。自衛消防訓練を3月に実施した。
- 5 接遇や個人情報の取扱い等を含めた全体研修や定期ミーティングを実施した。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。閉場時間を午前1時30分に延長した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。大型自転車ゾーンを増設した。
 - ・雨合羽の販売サービスを行った。
- 7 定期利用登録率（登録者数 / 定期登録台数） 104.8%〔平成30年3月31日現在〕
 （28年度103.3%）
 一時利用率（利用者数 / 一時収容台数） 21.4%〔一日平均〕（28年度27.7%）

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60			60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100			92
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	3	60%	3
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	3	60%	1.8
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
合計(B)	10			6
合計(A+B)				98
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>(基本評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者への挨拶を欠かさず行き、高齢者や女性等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と平日朝の繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。 雨合羽の販売や軽微な自転車トラブルへの応急措置などのサービスを実施した。 利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。 <p>(その他の評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> 放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓発活動を行った。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> 利用者増加については、利用案内の配布等に加え、より実効性のある募集方法の検討、実施が必要である。 区民雇用率の向上と、環境やエコに関する取組について、より具体的に取り組めるよう検討する必要がある。 平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。 				

施設決算状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	256,963	1,487,160	2,091,957	2,091,957
	利用料金収入	38,897,950	38,656,600	32,146,000	37,889,300
	その他収入	0	770	1,000	220
	計	39,154,913	40,144,530	34,238,957	39,981,477
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	12,996,919	11,509,900	10,698,043	11,649,909
	本部経費	6,363,929	6,381,031	6,357,000	6,559,689
	人件費	16,257,404	16,407,797	16,371,000	17,745,741
	修繕費	256,963	1,487,160	2,406,240	2,406,240
	その他支出	0	0	0	0
	計	29,511,286	29,404,857	29,475,283	31,801,890
収支差額		9,643,627	10,739,673	4,763,674	8,179,587

(施設決算状況の説明)

- ・南千住駅周辺に開設された民間駐輪場との競合により、一時利用収入が減少した。
- ・従業員の有給休暇の取得日数増に伴い、追加の整理員が動員されたため、人件費が増加した。
- ・最低賃金の上昇も、人件費増加の一因になっている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正になされている。	良好
	予算管理が適正である	いくつかの項目で予算と実績との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出額が大きく削減された経費項目はないが、概ね効率的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診状況等を確認した結果、法令に準じた対応がなされており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期にわたる決算書に基づき財務診断を行った結果、安定的・継続的な運営に必要な財務力を概ね有している。	良好

総合評価

- ・サービス面、財務面、労務面は良好であることから、指定管理業務は適正であり評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	センターまちや自転車駐車場
	所在地	荒川区荒川七丁目 50 番 9 号
指定管理者	名称	サイカパーキング株式会社
	所在地	中央区日本橋小網町七丁目 2 番
施設開設年月日		平成 8 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成 18 年 4 月 1 日
指定期間		平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
業務内容		自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：1,437.68m ² ・収容台数： 自転車 1,407 台（定期利用 1,200 台、一時利用 207 台）
平成 29 年度の事業計画		
1 利用者サービスの向上に取り組む。 2 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。 3 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設内の清掃を毎日行い、整理整頓にも努める。 4 緊急時対応マニュアルや緊急連絡網を管理棟に常備する。 5 接遇研修及び定期ミーティングを行う。 6 自主事業として次の事業を行う。 ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への 2 時間まで無料サービスを実施する。 ・空気入れ（自動・手動各 1 基）及び投書箱の設置を継続する。 ・傘、雨合羽、サドル等の汚れ拭き用タオルを常備し、貸し出すサービスを行う。 ・自転車用チェーン鍵の販売を行う。		
平成 29 年度の事業実績		
1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。また、高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の出入り補助を行った。 2 ラック・照明器具修繕等を行い、併せて自転車搬送用コンベア保守点検（年 4 回）、機械警備（365 日）を行った。なお、消防設備保守点検は、センター町屋管理組合により行われた。 3 緊急時対応マニュアル及び緊急連絡網等を管理棟へ常備し、全管理員に周知徹底した。 4 接遇研修及び定期ミーティングを行った。 5 自主事業として次の事業を行った。 ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。 ・一時利用者への 2 時間まで無料サービスを実施した。 ・空気入れ（自動・手動各 1 基）と投書箱の設置を継続した。 ・傘、雨合羽、サドル等の汚れ拭き用タオルを常備し、貸し出すサービスを行った。 ・チェーンオイルサービスの実施 ・自転車用チェーン鍵の販売を行った。 6 定期利用登録率(登録者数 / 定期登録台数) 119.6%〔平成 30 年 3 月 31 日現在〕 (28 年度 122.4%) 一時利用率 (利用者数 / 一時収容台数) 96.6%〔1 日平均〕(28 年度 97.1%)		

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60			56
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	4	80%	16
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100			88

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	3	60%	3
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	3	60%	1.8
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
合計(B)	10			6
合計(A+B)				94
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

(基本評価項目)

- ・高齢者や子ども乗せ自転車利用者等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。
- ・大型自転車ゾーンの増設。
- ・駅につながる階段口付近等に姿見(鏡)を設置し、利用者の利便性や安全性を確保した。
- ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。

(その他の評価項目)

- ・放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓発活動を行った。
- ・チェーンオイルサービス、雨合羽やサドル等の汚れ拭き用タオルの貸出しを行った。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者増加については、利用案内の配布等に加え、より実効性のある募集方法の検討、実施が必要である。
- ・区民雇用率の向上と、環境やエコに関する取組について、より具体的に取り組めるよう検討する必要がある。
- ・平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。

施設決算状況

年度		平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	1,338,778	1,367,538	1,301,390	842,616
	利用料金収入	44,188,400	41,991,600	42,520,372	41,829,700
	その他収入			60,000	0
	計	45,527,178	43,359,138	43,881,762	42,672,316
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	22,491,876	23,870,124	23,437,423	25,008,452
	本部経費	4,521,385	4,551,683	4,667,000	5,280,465
	人件費	17,394,226	18,091,669	17,905,850	18,415,636
	修繕費	1,338,778	1,367,538	1,301,390	842,616
	その他支出	0	0	0	0
	計	41,224,880	43,329,331	42,644,663	44,266,704
収支差額		4,302,298	29,807	1,237,099	-1,594,388

(施設決算状況の説明)

- ・ 町屋駅周辺における民営駐輪場との競合により、前年度よりも利用料収入等が減少した。
- ・ センターまちや管理組合から、組合費の追加負担を求められたため、管理費が増加した。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正になされている。	良好
	予算管理が適正である	多くの項目で予算と実績との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出額が大きく削減された経費項目はないが、概ね効率的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診状況等を確認した結果、法令に準じた対応がなされており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期にわたる決算書に基づき財務診断を行った結果、安定的・継続的な運営に必要な財務力を概ね有している。	良好

総合評価

- ・ サービス面、財務面、労務面が良好であることから、指定管理業務は適正であり評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	日暮里駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区西日暮里二丁目 2 4 番 2 号
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	足立区六町四丁目 1 2 番 2 5 号
施設開設年月日		平成 20 年 4 月 1 日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成 20 年 4 月 1 日
指定期間		平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
業務内容	自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：1,706.98㎡ ・収容台数： 自転車1,270台（定期利用1,100台、一時利用170台）	
平成 29 年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。 3 苦情・トラブルに対しては24時間365日対応する。 4 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し、全管理員に周知徹底する。 5 監理員全体研修(年1回)、定期ミーティング(3か月ごと)及び個別研修(OJT)を行う。 6 自主事業として次の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。 ・雨合羽の販売サービスや自転車の軽微な修理サービスを行う。 		
平成 29 年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。また、高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の出入り補助を行った。 2 施設の修繕等を適切に行った（精算機・パソコン修理等）。また、エレベーター（月1回）、自転車搬送用コンベア（年2回）、ゲートシステムの定期保守点検（年2回）、消防設備点検（年2回）を実施した。施設の清掃・巡回は毎日行った。 3 苦情等は、現地と本社に設置した24時間365日対応するコールセンターにおいても対応した。 4 緊急連絡網等を管理棟へ設置し、全管理員に周知徹底した。 本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。自衛消防訓練を10月、3月に実施した。 5 接遇や個人情報等の取扱い等について、全体研修や現場定期ミーティングを実施した。 6 自主事業として次の事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。さらにホテルラングウッド利用者に対しサービス券を配布し、8時間まで無料の対応をサニーホールと同様に行った。 (29年度実績約196枚) ・雨合羽の販売サービスや、自転車の軽微な修理サービスを行った。 7 定期利用登録率（登録者数/定期登録台数） 51.8%（平成30年3月31日現在） （28年度48.3%） 一時利用率（利用者数/一時収容台数）146.0%〔1日平均〕（28年度147.1%） 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60			56
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	4	80%	16
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100			92
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	3	60%	3
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	3	60%	1.8
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
合計(B)	10			6
合計(A+B)				98
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>(基本評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者への挨拶を欠かさず行い、高齢者や女性等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と平日朝の繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。 雨合羽の販売や、軽微な自転車トラブルへの応急措置などのサービスを実施した。 利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており、感謝の声も多数寄せられた。 <p>(その他の評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> 放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓発活動を行った。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> 利用者増加については、利用案内の配布等に加え、より実効性のある募集方法の検討、実施が必要である。 区民雇用率の向上と、環境やエコに関する取組について、より具体的に取り組めるよう検討する必要がある。 平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。 				

施設決算状況

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	23,760	348,516	0	178,740	
	利用料金収入	23,570,200	22,480,300	21,897,000	23,246,100	
	その他収入	233,250	96,420	233,000	66,830	
	計	23,827,210	22,925,236	22,130,000	23,491,670	
支出	運営費	0	0	0	0	
	管理費	13,480,266	13,241,723	13,544,000	14,541,164	
	本部経費	6,169,552	6,187,689	6,170,000	6,602,031	
	人件費	14,846,549	15,203,093	14,152,000	17,673,257	
	修繕費	23,760	348,516	0	178,740	
	その他支出	0	0	0	0	
	計	28,350,575	28,793,332	27,696,000	32,393,161	
収支差額	-4,523,365	-5,868,096	-5,566,000	-8,901,491		

(施設決算状況の説明)

- ・従業員の有給休暇の取得日数増加に伴って、追加の整理員が動員されたため、人件費が増加した。
- ・最低賃金の上昇も、人件費増加の一因になっている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正になされている。	良好
	予算管理が適正である	いくつかの項目で予算と実績との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	経費項目全般において前年度よりも額が増加しているものの、概ね効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診状況等を確認した結果、法令に準じた対応がなされており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期にわたる決算書に基づき財務診断を行った結果、安定的・継続的な運営に必要な財務力を概ね有している。	良好

総合評価

- ・サービス面、財務面、労務面が良好であることから、指定管理業務は適正であり評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成 29 年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	三河島駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区西日暮里一丁目 6 番 2 0 号
指定管理者	名称	センターサイクル荒川共同体 (構成団体：代表団体・公益財団法人自転車駐車場整備センター、サイカパーキング株式会社)
	所在地	中央区日本橋本石町四丁目 6 番 7 号 (代表団体所在地)
施設開設年月日		平成 26 年 10 月 1 日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成 26 年 10 月 1 日
指定期間		平成 26 年 10 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日
業務内容		自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：776㎡ ・収容台数：自転車440台(定期利用330台、一時利用110台)

平成 29 年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 安全管理実施連絡体制により、トラブル防止、苦情対応及び緊急時の対応を行う。
- 4 事故・防犯・防災マニュアルを管理室に常備する。
- 5 新規採用時における研修及び年に 1 回の定期研修を行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への 2 時間無料サービスを実施する。
 - ・一時利用料の清算時に電子マネー決済機を継続する。
 - ・電動空気入れを継続して設置する。
 - ・非常時貸出用自転車を用意する。

平成 29 年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
- 2 機械式駐輪機の定期保守点検(4回)、電話サポート(12回)、機械警備(12回)、施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 3 安全管理実施連絡体制により、トラブル防止、苦情対応及び緊急時の対応を行った。
- 4 事故・防犯・防災マニュアルを管理室に常備し、全管理員に周知した。
- 5 新規採用時研修、及び全管理員に対する研修を行った。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への 2 時間無料サービスを実施した。
 - ・一時利用料の精算時に電子マネー決済機を継続した。
 - ・電動空気入れの設置継続。
 - ・非常時貸出用自転車を 10 台用意した。
- 7 定期利用登録率(登録者数/定期登録台数) 52.1% [平成 30 年 3 月 31 日現在]
(28 年度 57.6%)
一時利用率 (利用者数/一時収容台数) 23.7% [1 日平均] (28 年度 21.1%)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60			60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合 計 (A)	100			92

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	3	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	4	80%	2.4
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
合 計 (B)	10			7.6
合計 (A+B)				99.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

(基本評価項目)

- ・施設利用に当たり利用者が守るべき事項を周知徹底すると共に、繁忙時間(毎日6時～9時30分)に増員を図り、利用者がスムーズに施設を利用できるよう努めた。
- ・緊急時連絡組織体制網に基づき、機器異常発生時における利用者対応等を適切に行った。
- ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。

(その他の評価項目)

- ・放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓発活動を行った。
- ・区民を優先的に(9人中7人)雇用了。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者増加については、利用案内の配布等に加え、より実効性のある募集方法の検討、実施が必要である。
- ・また、環境やエコに関する取組について、より具体的に組み立てよう検討する必要がある。
- ・平成30年度からは指定管理者が変更となっていることから、改善すべき点は新事業者へ伝え引き続き対応していく。

施設決算状況

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	指定管理料	9,211,592	8,321,310	6,240,260	8,588,427
	利用料金収入	5,057,400	4,737,400	7,500,300	4,461,800
	その他収入	0	0	0	0
	計	14,268,992	13,058,710	13,740,560	13,050,227
支出	運営費	0	0	0	0
	管理費	4,536,953	3,919,041	4,698,292	3,873,692
	本部経費	408,056	409,112	384,912	406,004
	人件費	8,912,268	8,912,268	8,912,268	8,912,268
	修繕費	819,771	227,401	130,000	264,267
	その他支出	0	0	0	0
	計	14,268,992	13,058,710	13,740,560	13,050,227
収支差額	0	0	0	0	

(施設決算状況の説明)

- ・設置当初の基本協定により、収支差額分について指定管理料として区が負担しているため、収支差額は0となっている。
- ・定期利用、一時利用ともに利用率が低いため、利用者数の増加に向け改善していく。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正になされている。	良好
	予算管理が適正である	いくつかの項目で予算と実績との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出合計が過年度に比べて削減されており、概ね効率的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診状況等を確認した結果、法令に準じた対応がなされており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	安定的・継続的な運営に必要な財務力を概ね有している。	良好

総合評価

- ・サービス面、財務面、労務面が良好であることから、指定管理業務は適正であり評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課